INAX

Shower toilet

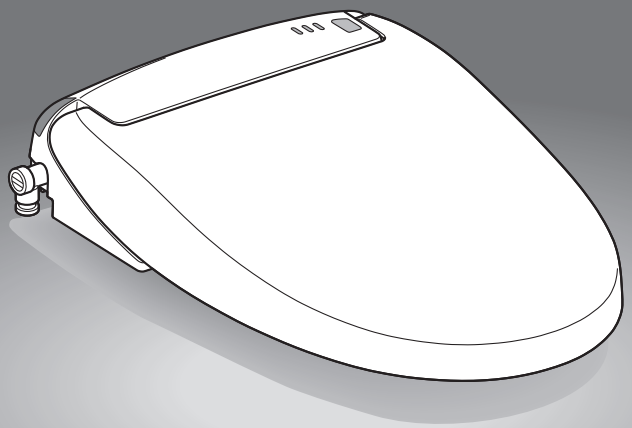
取扱説明書 | 保証書別添 |

シャワートイレ

RW シリーズ | CW-RWA3 型 ,CW-RWA2 型

メーカー管理用です。

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、
ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。
しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、
快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。



■ 必ずお読みください
○安全上のご注意 …… 1
■ 故障を防ぐためのご注意
○お取扱い上のご注意 …… 6
■ 最初にお読みください
○各部のなまえ …… 7
○ご使用前の準備と確認
①止水栓を開く …… 8
②電源を接続する …… 8
③シャワーを出す …… 10
④温度を調節する …… 10
○機能の紹介 …… 11
■ ご使用方法
○一般的な使い方
①便器の前に立つと、便フタが自動的に開く … 13
②ミストで汚れを軽減する …… 15
③自動的に脱臭が作動する …… 15
④シャワーで洗う …… 17
⑤便器を洗浄する …… 21
⑥便器から離れると便フタが閉じる …… 23
○便利な使い方
節電 …… 24
もっと快適に …… 25
■ 知っておけば便利で安心
○知っておいていただきたいこと …… 27
○こんなときは …… 29
○凍結しそうなときは …… 30
○長期間使用しないときは …… 32
■ お掃除・お手入れ方法 …… 33
■ 故障かな？と思ったら
○修理を依頼する前に …… 49
■ 安全・安心にお使いいただくために …… 60
■ アフターサービス …… 63
■ 別売品のご案内 …… 66
■ 仕様 …… 67
■ LIXIL お客さま窓口 …… 裏面

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

1～5ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

★工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負うおそれが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生するおそれが想定される内容を示します。

⚠警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で
電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電のおそれがあります。

指示実行

電源プラグの抜き差しは
プラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災のおそれがあります。

指示実行

電源プラグは
定期的にコンセントから抜いて
乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災のおそれがあります。

禁止

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

禁止

電源コードにキズを付けたり、
破損したり、加工したり、
無理に曲げたり、引っ張ったり、
ねじったり、束ねたり、
重いものを載せたり、
狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

指示実行

電源プラグは
根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災のおそれがあります。

禁止

ガタついているコンセントや
アースターミナル付接地極付以外の
コンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース接続

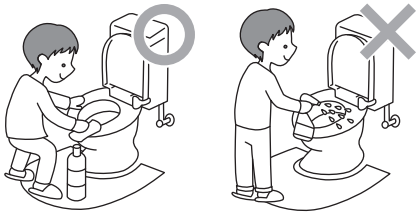
アース線はコンセントの
アースターミナルへ確実に
接続する。
※ 感電などの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグや
コードが故障（異音・異臭・発煙・
高温・割れ・漏水）した場合、
ただちにコンセントから
電源プラグを抜き、止水栓を閉め、
修理を依頼し、故障したまま
使用しない。
※ 感電・火災・漏水のおそれがあります。

禁止

シャワートイレ本体や、
電源プラグに水や洗剤・薬品
（消毒薬・除菌薬）を直接かけない。
※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因となったり、金属部品の腐食・劣化による感電・発煙や火災の原因になります。



⚠	禁止	指示実行
この表示は「注意しなさい！」の記号です。（左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。	この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

指示実行

清掃後は薬剤除去のために必ず水拭きをしてください。

※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因となったり、金属部品の腐食・劣化による感電・発煙や火災の原因になります。

指示実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

指示実行

長時間使用するときや、次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこすおそれがあります。

指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。

- ⊕⊖を正しく入れる。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

- 乳幼児の手の届く場所には置かない。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。

※ 失明のおそれがあります。医師に相談してください。

禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠警告

水場使用禁止

バスルームなどの
湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

凍結のおそれがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
(☞ 30 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

⚠注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災のおそれがあります。

禁止

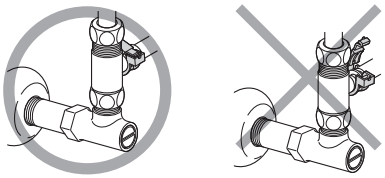
便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒薬・除菌薬は使用しない。

※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。

指示実行

クイックファスナーは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水するおそれがあります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しない。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

※ 飲用可能な井戸水でも水アカの付着、腐食等の発生で、修理が必要な故障が起きやすくなる場合がありますので定期的なメンテナンスが必要です。また、井戸水は環境によって変化する場合がありますので、定期的な水質検査や水質改善設備の維持管理などが必要です。

禁止

便フタや本体の上に乗らない。

※ 破損してケガをするおそれがあります。

禁止

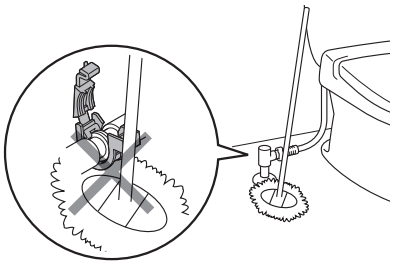
止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときなどに、クイックファスナーに衝撃を与えたり、引っ掛けない。

※ クイックファスナーの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。



火気禁止

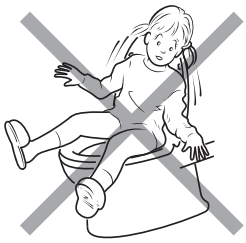
タバコや灰皿などの火気類を近づけない。

※ 火災のおそれがあります。

禁止

便フタにもたれない。

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



安全上のご注意

⚠注意

禁止

脱臭吸込口の奥に指を入れない。
(☞ 7 ページ)
※ ケガのおそれがあります。

指示実行

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。
※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害のおそれがあります。

指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。
(☞ 32 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水のおそれがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこすおそれがあります。

指示実行

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※ 感電のおそれがあります。
（ノズル掃除を使用する場合は、電源を入れた状態で行ってください。）

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。
- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

指示実行

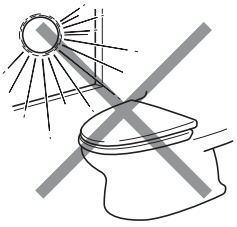
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認する。
※ Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

指示実行

シャワーを使用するときは以下のことを守り、正しく使用する。
●長時間の洗浄や洗いすぎに注意する。また、局部内は洗わない。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
●習慣的に便意を促すためには使用しない。また、洗浄しながら故意に排便しない。
●局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しない。
●局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守る。

お取扱い上のご注意

直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。
※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。

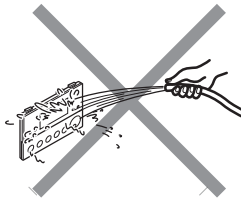


本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。また、メラミンスポンジを使用しないでください。
詳しいお手入れ方法は 33 ページをご覧ください。
※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※ 故障の原因になります。

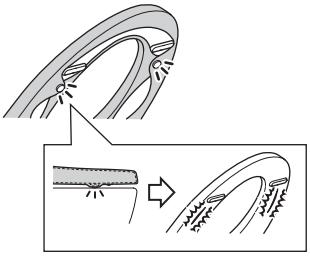
リモコンに水や洗剤・薬品 (消毒薬・除菌薬) をかけないでください。
※ 故障の原因になります。



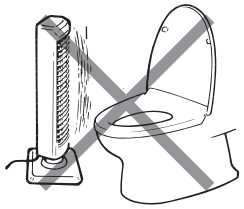
〈フルオート便器洗浄付の場合〉
洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。その際は、洗浄ハンドルを戻してください。
(☞ 29 ページ)

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
また、ヘアスプレーなどをご使用の場合は、室内に成分が留まらないよう、十分な換気を行ってください。
※ 光沢がなくなることがあります。
※ 故障の原因になります。

便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。
※ 着座スイッチが入りっぱなしになることがあります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくることがあります。



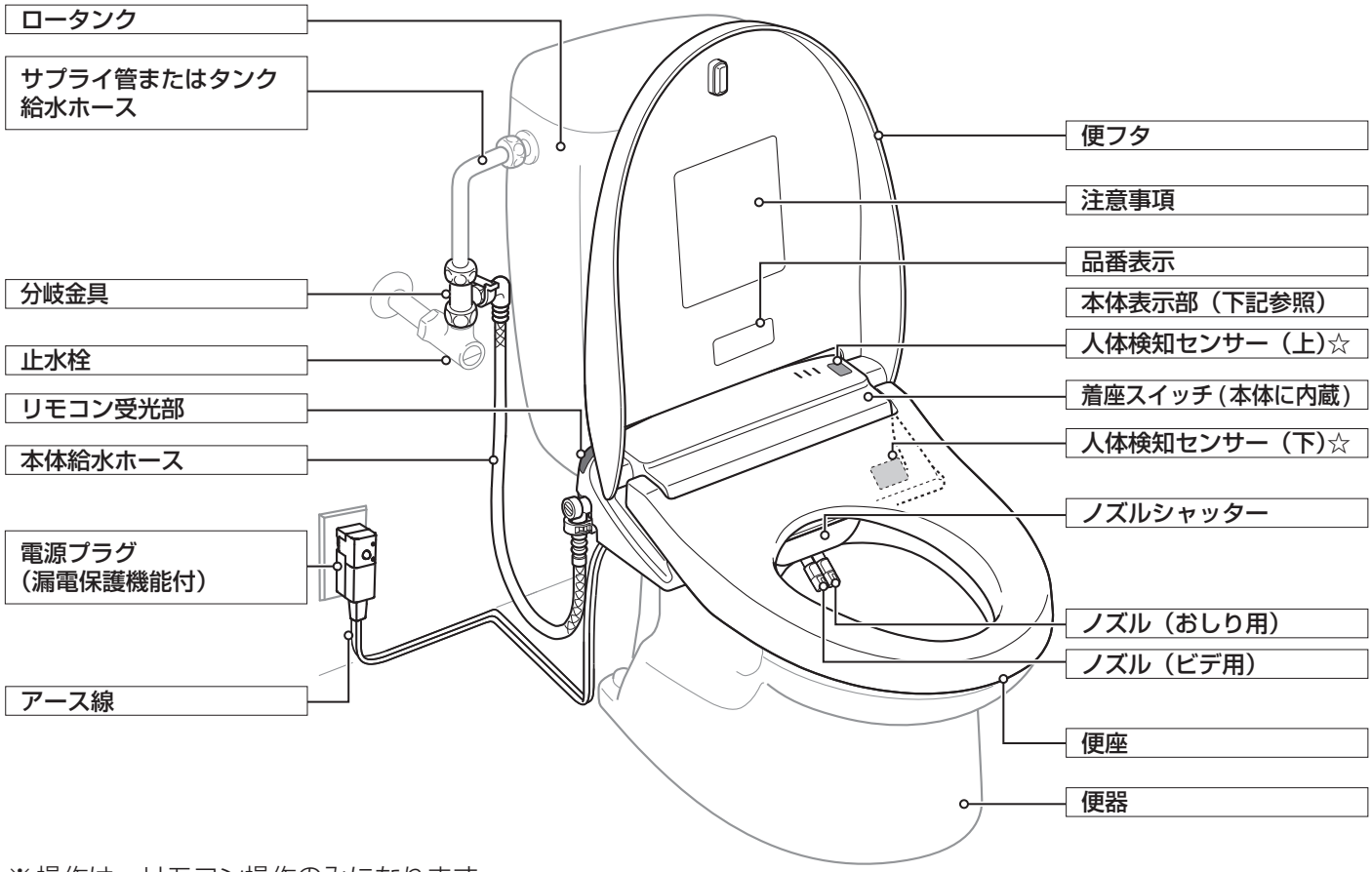
シャワートイレ本体や付属品にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。
※ 変色や故障の原因になります。



各部のなまえ

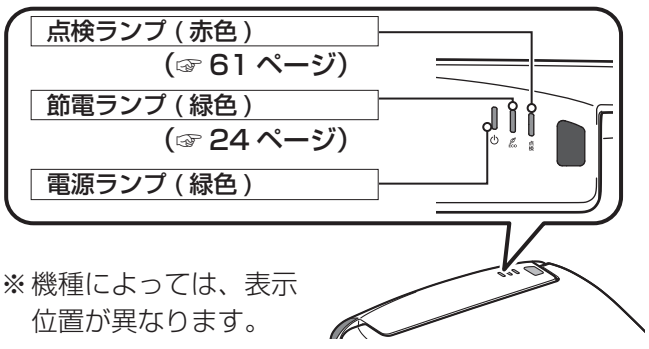
全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



※操作は、リモコン操作のみになります。

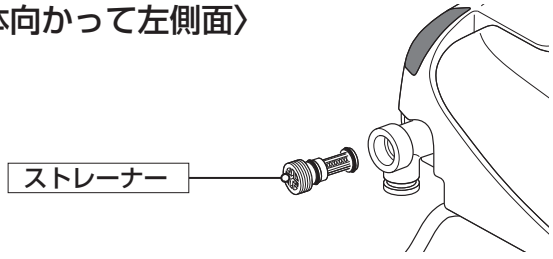
本体表示部



※機種によっては、表示位置が異なります。

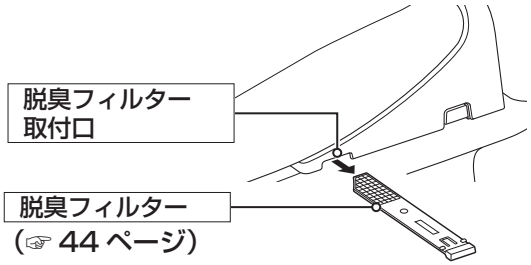
ストレーナー

〈本体向かって左側面〉



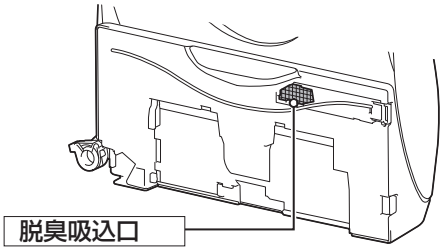
脱臭フィルター

〈本体右側面〉

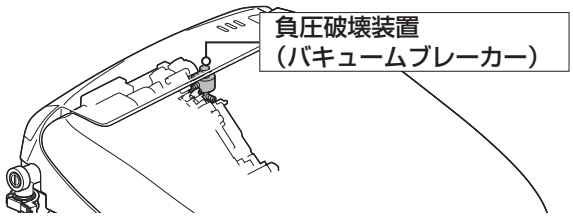


（☞ 44 ページ）

〈本体底面〉

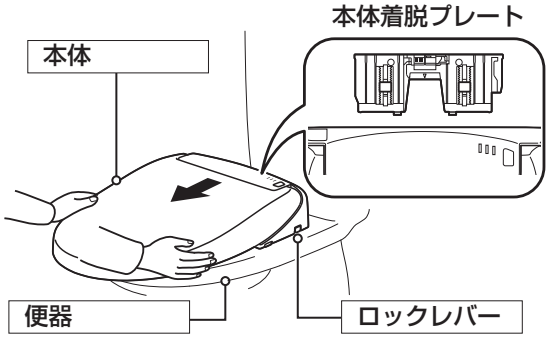


負圧破壊装置（バキュームブレーカー）



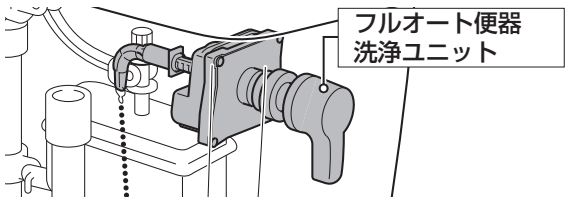
※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。また、定期的な点検が必要です。（☞ 61 ページ）

本体着脱プレート&ロックレバー



※お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。（☞ 37 ページ）

フルオート便器洗浄ユニット☆



※フルオート便器洗浄ユニットは、イラストと異なる場合もあります。
※ロータンク部にあります。

⚠警告

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電などの原因になります。

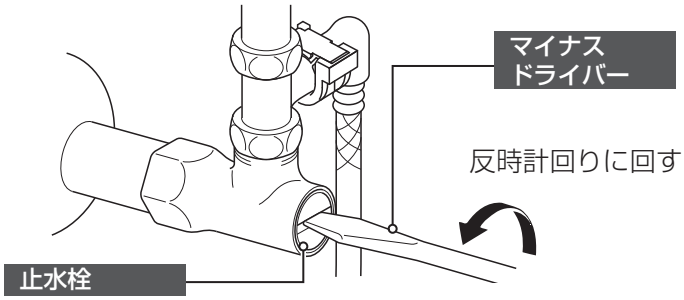
⚠警告

禁止

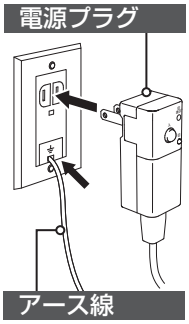
●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

STEP 1 止水栓を開く

※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ず元の位置に戻してください。



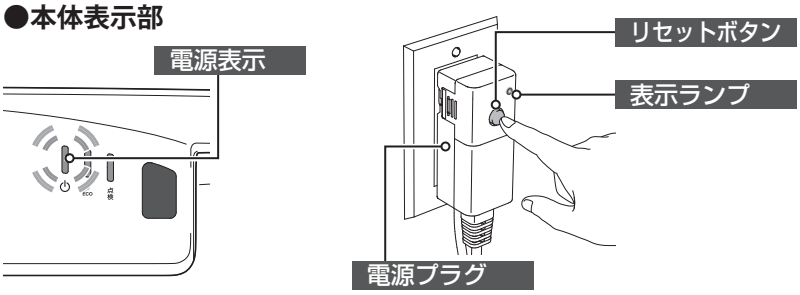
STEP 2 電源を接続する

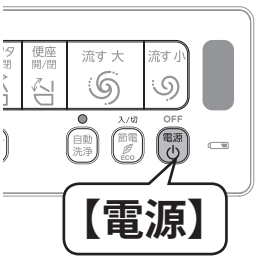


●「アース線」をコンセントのアース端子に接続する
●「電源プラグ」をコンセント（AC100V）に差し込む

※本体表示部の「電源ランプ」（緑色）が点灯します。「電源ランプ」が点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「リセットボタン」を押します。それでも点灯しない場合は、リモコンの【電源】を押してください。

●本体表示部



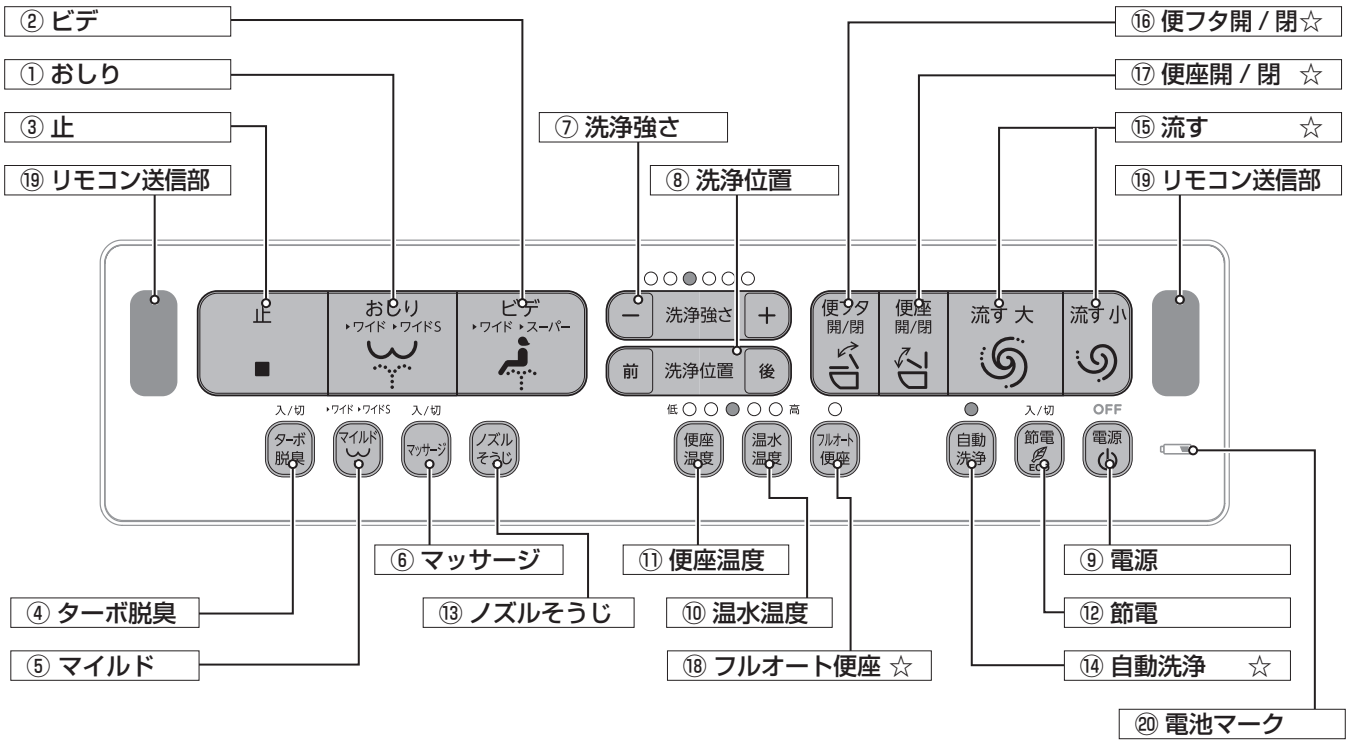


※「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。
電気を遮断すると表示ランプが点灯します。
（通常は消灯しています。）

[注意]
●電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

壁リモコン

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



（参考）
- ●リモコンの電源スイッチで電源を「入」にした場合、すべてのランプが数秒点灯します。
- ●リモコンの電源スイッチで電源を「切」にした場合、OFF ランプが数秒点灯します。
- ●リモコンの表示ランプはボタン操作後数秒で消灯します。

① **【おしり】**……（☞ 17 ページ）
●おしり洗浄のときに。

② **【ビデ】**……（☞ 19 ページ）
●ビデ洗浄のときに。

③ **【止】**……（☞ 17/18/19 ページ）
●おしり洗浄・ビデ洗浄等のお使い中の機能を止めるときに。

④ **【ターボ脱臭】**……（☞ 16 ページ）
●パワー（自動）脱臭をより強力に。

⑤ **【マイルド】**……（☞ 18 ページ）
●マイルド洗浄のときに。

⑥ **【マッサージ】**……（☞ 20 ページ）
●マッサージ洗浄のときに。

⑦ **【洗浄強さ】**……（☞ 17/18/19 ページ）
●おしり洗浄・ビデ洗浄・マイルド洗浄の洗浄強さを調節するときに。

⑧ **【洗浄位置】**……（☞ 20 ページ）
●おしり洗浄・ビデ洗浄・マイルド洗浄の洗浄位置を調節するときに。

⑨ **【電源】**……（☞ 8 ページ）
●シャワートイレ本体の電源を「入 / 切」するときに。

⑩ **【温水温度】**……（☞ 10 ページ）
●シャワー温度を調節するときに。

⑪ **【便座温度】**……（☞ 10 ページ）
●便座温度を調節するときに。

⑫ **【節電】**……（☞ 24 ページ）
●トイレを使用しないときや節電のために。

⑬ **【ノズルそうじ】**……（☞ 40 ページ）
●ノズルを掃除するときに。

⑭ **【自動洗浄】**……（☞ 21 ページ）
●フルオート便器洗浄を「入 / 切」するときに。

⑮ **【流す】**……（☞ 21 ページ）
●便器洗浄のときに。

⑯ **【便フタ開 / 閉】**……（☞ 14 ページ）
●便フタを開閉するときに。

⑰ **【便座開 / 閉】**……（☞ 14 ページ）
●便座を開閉するときに。

⑱ **【フルオート便座】**……（☞ 13 ページ）
●フルオート便座を「入 / 切」するときに。

⑲ **【リモコン送信部】**

⑳ **【電池マーク】**……（☞ 46 ページ）
●リモコン電池の交換を案内。

STEP 3

シャワーを出す

1 便座を押し下げ、着座スイッチを入れる

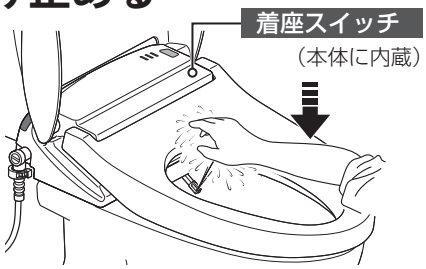
※人が便座に座ったことを検知する着座スイッチが付いています。
シャワーは、着座していないと作動しません。
※初回の着座時に、水回路内部の空気抜きのため、ノズル付近から約 30 秒間水が出ます。

2 【おしり】を押す

※このとき、準備動作のため、ノズル付近から水が出ます。

3 ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

4 【止】を押して、シャワーを止める



STEP 4

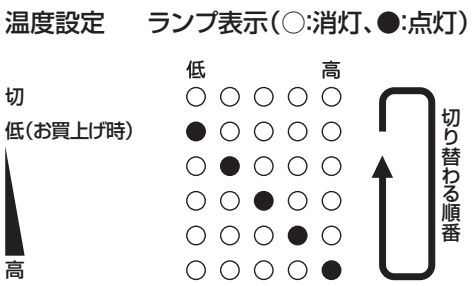
温度を調節する

●【温水温度】を押す

※シャワー温度を調節します。温水温度は 6 段階（「切（水温）」、「低（約 32℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えできますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。

●【便座温度】を押す

※便座温度を調節します。便座温度は 6 段階「(切 (室温)」、「低 (約 28℃)」～「高 (約 36℃)」に切り替えできますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。



⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこすおそれがあります。

（参考）

- 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 25 ページ）
- 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。

❖ランプ表示について

スイッチを押さない時間が数秒続くと、ランプが消灯します。設定中にランプが消灯した場合は、もう一度スイッチを押して設定をしてください。

機能の紹介

品番は、便フタ裏の品番表示（☞ 7 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

キレイ機能			RWA3A 型	RWA2A 型
ノズル除菌	―	高い抗菌性の銀イオンでノズルを除菌。	○	○
鉢内スプレー	☞ 15	便器の表面を濡らし、汚れを付きにくくします。	○	○
ノズルシャッター	☞ 39	使わないときは、ノズルを収納。着脱式でお掃除ラクラク。	○	○
			スッキリノズルシャッター	
ノズルお掃除モード	☞ 41	ノズルが伸出して、お掃除ラクラク。	○	○
ノズルそうじ	☞ 40	スイッチ操作でノズルを洗浄します。	○	○
ノズル先端着脱	☞ 42	ノズルの先端が交換可能でいつも清潔。	○	○
キレイ便座	―	つぎ目をなくし、さらに便座裏のお掃除も防汚素材でラクラク。	○	○
本体スライド着脱	☞ 37	本体をカンタンに着脱できて、便器とのすき間をカンタンお掃除。	○	○
女性専用レディスノズル	―	女性にやさしいビデ専用ノズル。	○	○
ノズルオートクリーニング	☞ 18	使用前後にノズルを洗浄します。	○	○
便フタワンタッチ着脱	☞ 35	便フタがカンタンに取り外せて、お掃除ラクラク。	○	○
抗菌樹脂（ISO 抗菌準拠）	☞ 34	抗菌材の抗菌効果。	○	○

エコ機能			RWA3A 型	RWA2A 型
スーパー節電	☞ 24	使わないときは、自動的に便座温度を下げて節電します。	○	○
ワンタッチ節電	☞ 24	スイッチ操作で一定時間、ヒーターをオフにして節電。	○	○
			(8h)	
電源スイッチ	―	スイッチ操作でこまめに節電。	○	○

洗浄機能			RWA3A 型	RWA2A 型
おしり洗浄	☞ 17~18	お湯のシャワーで、おしりをすっきり洗浄。	○	○
			パワフル・マイルド	
おしりワイド洗浄	☞ 17~18	ノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄。	○	○
おしりワイドS洗浄	☞ 17~18	ノズルが前後に小刻みに動きながら洗浄し、おしりを刺激。	○	○
おしりマッサージ洗浄	☞ 20	強弱をつけた洗浄で、おしりを刺激。	○	○
ビデ洗浄	☞ 19~20	ソフトなシャワーでやさしく洗浄。	○	○
ワイドビデ洗浄	☞ 19~20	ノズルが前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄。	○	○
			スーパーワイドビデ洗浄	
ノズル位置調節	☞ 20	シャワーの当たる位置をお好みの位置に調節。	○	○

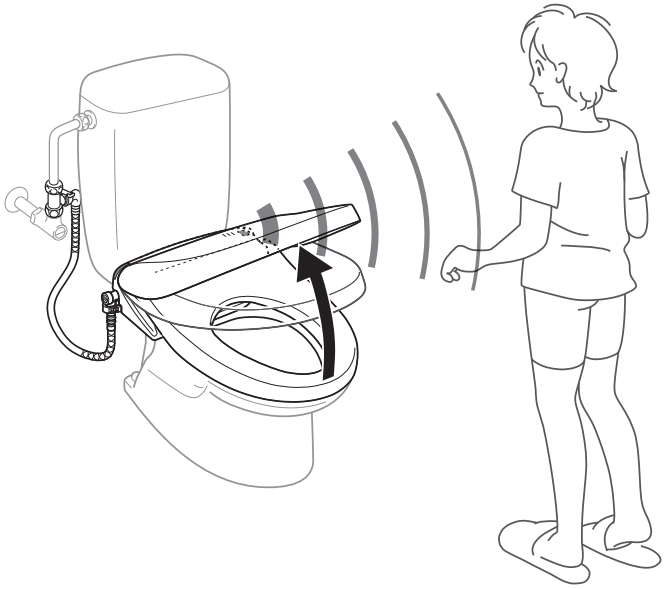
○：保有機能あり　ー：保有機能なし　△：CW-RWA3Q 型、CW-RWA2Q 型

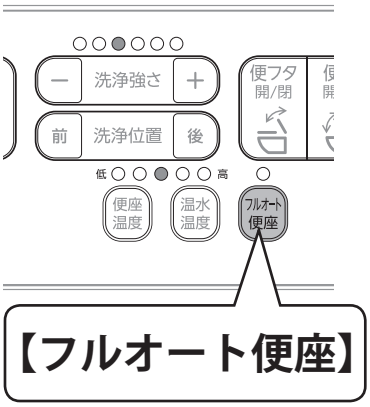
快適機能			RWA3A 型	RWA2A 型
フルオート便座	☞13,23	便フタの開閉がフルオート。節電にもつながります。	○	ー
フルオート便器洗浄（リモコン便器洗浄）	☞21	便座から立ち上がると自動的に便器を洗浄。	△ 男子小洗浄対応	△ 男子小洗浄非対応
Wパワー脱臭	☞15	着座すると脱臭を開始。より強力ににおいを吸引します。	○	○
ターボ脱臭	☞16	スイッチ操作で強力脱臭。	○	○
暖房便座	☞10	寒い日でも、おしりあたたか。	○	○
スローダウン便座	ー	便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を軽減します。	○	○
便座ヒーターオートOFF	☞25	便座に座るとヒーターOFF。低温やけどを防止します。	○	○
着座スイッチ	☞27	人が座らないと作動しないセンサー付で誤作動防止。	○	○
リモコン	ー	見やすく、ラクな姿勢で操作できます。	○	○
点字対応	ー	目の不自由な方に配慮した点字対応。	○	○

一般的な使い方

STEP 1 便器の前に立つと、便フタが自動的に開く【フルオート便座】

※この機能のついていない機種があります。
　11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。
※お買い上げ時は、「入」になっています。



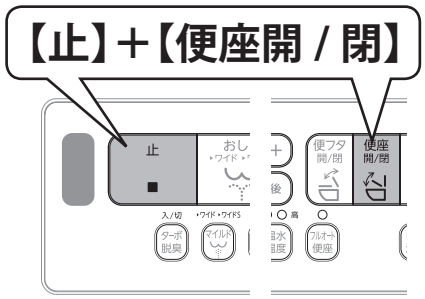


※便フタが単独で開いた後、着座スイッチが検知しなければ、約 3 分後に便フタが閉まります。
※「人体検知センサー（上）」が人の動き（熱の変化）を検知して、便フタを自動的に開閉します。
　トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。
※センサーの誤検知による急な作動などがないように、電源プラグを接続して約 1 分間は、自動で便フタは開きません。
※リモコンや手で便フタを閉じた場合は、約 15 秒間は開きません。

■便フタと便座を同時に開ける場合

【止】と【便座開 / 閉】を同じタイミングで 2 秒以上押します。

※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。
※便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って約 1 分後に便座・便フタが閉まります。
※元に戻す場合も【止】と【便座開 / 閉】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。）



❖室温が高い場合は

焦電センサーは人が動く際に起きる熱量の変化を検知しています。
トイレ室内の気温が高いと体温との温度差が小さくなるため、センサーが熱量の変化を検知できなくなる可能性があります。トイレ室内を換気したり、体を動かすなどしてみてください。

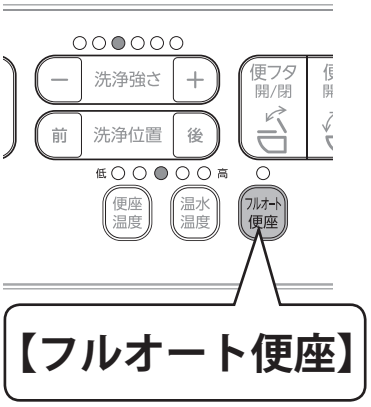
[注意]

●太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。
●便フタや便座の自動開閉中は手などで動きを止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。
　※便フタや便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。（☞ 56 ページ）

手動で便フタや便座を開閉するとき

【フルオート便座】を押し、「切」にする

【フルオート便座】を 1 回押すと、フルオート便座の設定を確認できます。
設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。
　フルオート便座ランプが点灯……設定「入」
　フルオート便座ランプが消灯……設定「切」
※「入」のときフルオート便座ランプは数秒後に消灯します。
※【止】を押すと、フルオート便座の設定を確認できます。
※小さなお子さまが使用するときは、【フルオート便座】を「切」にしてください。小さなお子さまの場合、「着座スイッチ」が検知できず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。



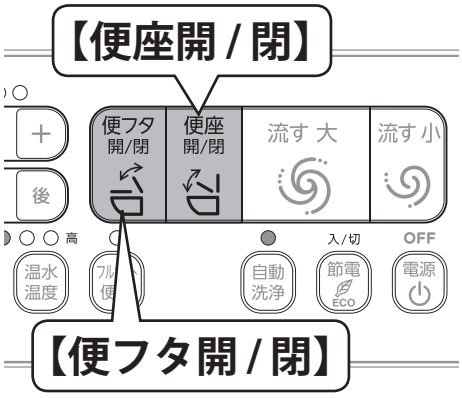
[注意]
●手で開閉するときは、強い力を加えず、軽く開閉してください。
　※強い力を加えると、故障の原因になります。

リモコンで便座を開閉するとき

1【便座開 / 閉】を押すと開く
2【便座開 / 閉】をもう一度押すと閉じる

リモコンで便フタを開閉するとき

1【便フタ開 / 閉】を押すと開く
2【便フタ開 / 閉】をもう一度押すと閉じる



STEP 2

ミストで汚れを軽減する【鉢内スプレー】

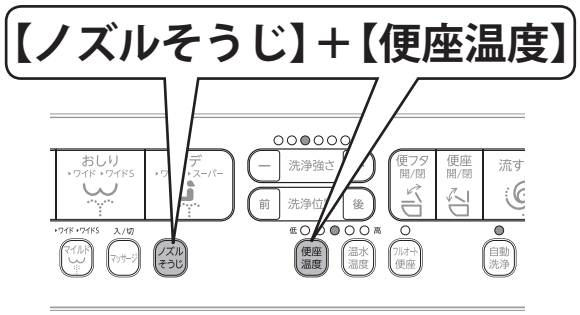
※お買い上げ時は、「入」になっています。

便器内にミストを噴出し、便器に汚物が付着するのを軽減します。
※便座に座ると約 6 秒間、便器鉢内にミストを噴出します。
※便座から立ち上がってから、再び座る場合は、約 80 秒間はミストが噴出しません。
※便器の種類、形状によっては、塗付範囲が異なる場合があります。

■鉢内スプレーを使用しない場合

【ノズルそうじ】と【便座温度】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。
※再び使用する場合も【ノズルそうじ】と【便座温度】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。）



STEP 3

自動的に脱臭が作動する【W パワー脱臭】

1 座ると通常脱臭

鉢内スプレーの動作後に脱臭ファンがパワーモードで作動し、便鉢内のにおいを除去します。
※換気扇などの使用によりトイレ室内の気圧が低くなった場合、脱臭機能が作動しても、便器鉢内のにおいが室内に上がってくることがあります。
※便器の種類、形状によっては、脱臭機能に差が出る場合があります。
※においの感じ方には個人差があります。

2 立ち上がると強力脱臭

脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、においを除去します。

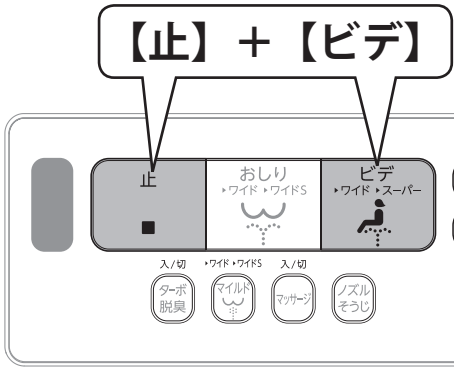
3 脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

■自動脱臭を使用しない場合

【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。
※再び使用する場合も【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。）



（参考）
●シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品がついています。（☞ 44 ページ）

リモコンの【ターボ脱臭】を押すと、自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のにおいを除去します。

1 **自動脱臭作動中に、【ターボ脱臭】を押す**

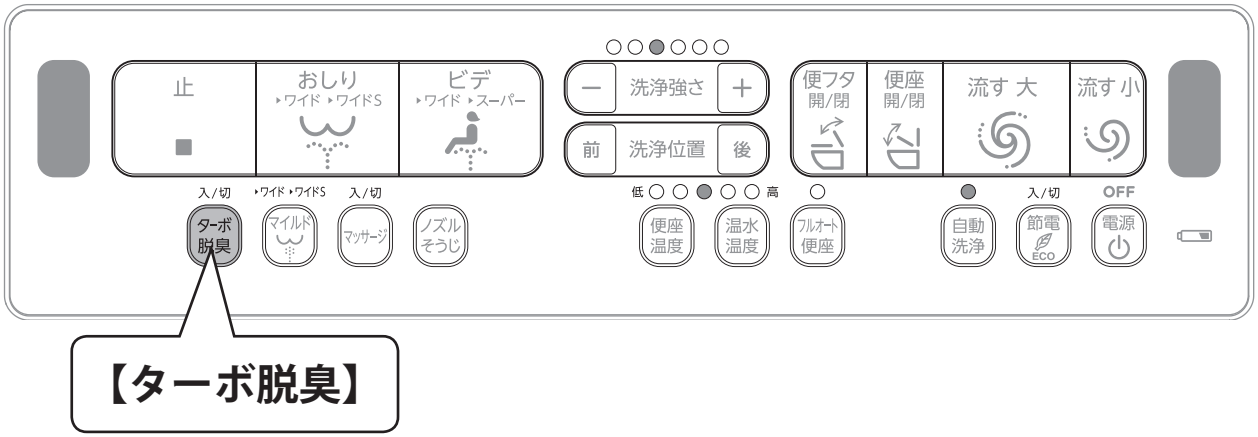
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

※脱臭ファンが「ターボモード」になり、便器鉢内のにおいの除去機能が向上します。

2 **ターボ脱臭を止めるときは、もう一度【ターボ脱臭】を押す**

※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。

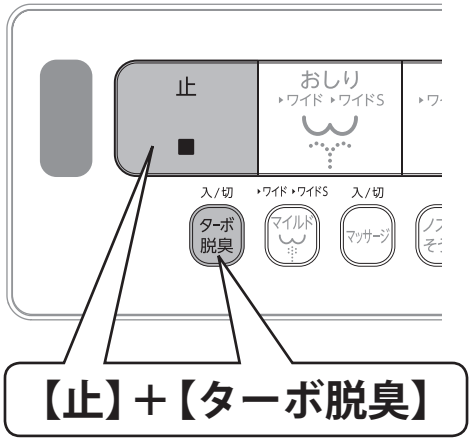


(参考)
●脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

自動脱臭を常にターボモードにするとき

【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。
※脱臭時は、常に「ターボモード」で便器鉢内のにおいを除去します。
※元の設定に戻すときは、もう一度、【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。）



STEP 4

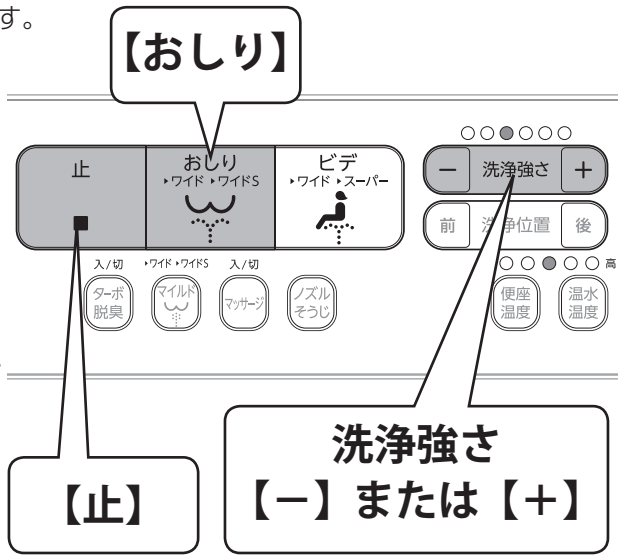
シャワーで洗う

❖おしり洗浄には 2 種類のモードがあります。

おしり洗浄	マイルド洗浄
シャワーで洗浄	優しいシャワーで洗浄

おしり洗浄▶ワイド洗浄▶ワイド S 洗浄

おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。



おしり洗浄

● 【おしり】を押す

● 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【－】または【＋】を押す

※洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々にお好みの水勢でご使用ください。
※洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
※表示ランプは数秒後に消灯します。
※洗浄強さの感じ方には個人差があります。

洗浄モードを切り替えるとき

おしり洗浄中に、もう一度【おしり】を押す

※おしり洗浄中、【おしり】を押すたびにモードが切り替わります。
※洗浄を止め、もう一度【おしり】を押すと「おしり洗浄」から始まります。

おしり洗浄 → **ワイド洗浄** → **ワイド S 洗浄**

ワイド洗浄：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。

ワイド S 洗浄：ノズルが前後に小刻みに動いて、ていねいに洗浄します。

[注意]
●給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの温度が低くなることがあります。
●便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、直腸内部、膣内部、尿道内部は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
●習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
●局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
●局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

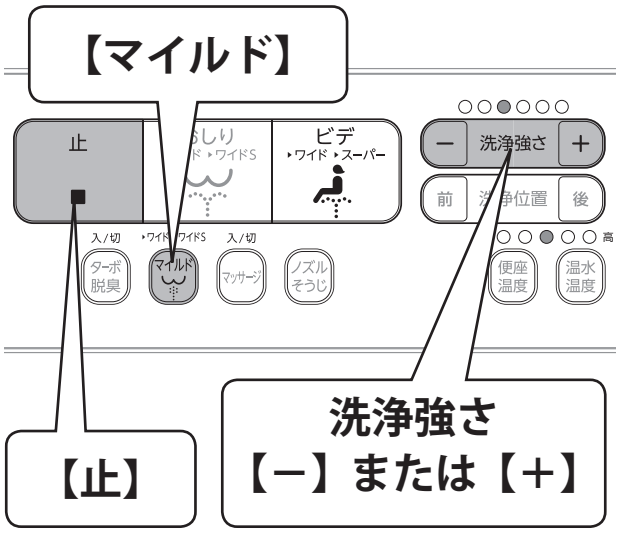
マイルド洗浄▶ワイド洗浄▶ワイド S 洗浄

マイルド洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを優しく洗い流す機能です。
洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。

マイルド洗浄

●【マイルド】を押す

● 止めるときは【止】を押す



洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【－】または【＋】を押す

※洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々にお好みの水勢でご使用ください。
※洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
※表示ランプは数秒後に消灯します。
※洗浄強さの感じ方には個人差があります。

洗浄モードを切り替えるとき

マイルド洗浄中に、
もう一度【マイルド】を押す

※マイルド洗浄中、【マイルド】を押すたびにモードが切り替わります。
※洗浄を止め、もう一度【マイルド】を押すと「マイルド洗浄」から始まります。

マイルド洗浄 → **ワイド洗浄** → **ワイド S 洗浄** →（マイルド洗浄へ戻る）

ワイド洗浄：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。

ワイド S 洗浄：ノズルが前後に小刻みに動いて、ていねいに洗浄します。

（参考）
●リモコンの表示ランプは数秒後に消灯します。おしり洗浄をする前に【止】を押すと、ランプが点灯し、洗浄強さの設定を確認できます。

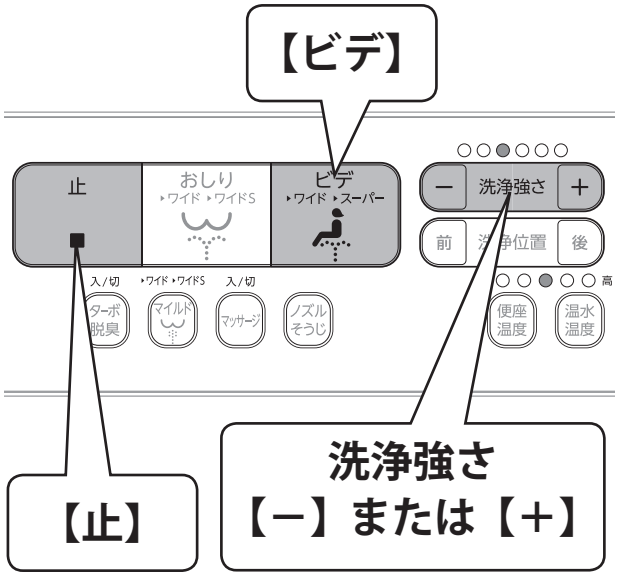
❖おしり洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージ・ワイドなどの操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

❖ノズルオートクリーニングについて
おしり・マイルド洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
便座に座ったり、シャワースイッチを押したときは、温水を出す準備のためにノズル付近から、しばらく水が出ます。これは機能上必要なもので、故障ではありません。（☞ 29 ページ）

ビデ洗浄▶ワイドビデ洗浄▶スーパーワイドビデ洗浄

ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。



ビデ洗浄

●【ビデ】を押す

● 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの【－】または【＋】を押す

※洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々にお好みの水勢でご使用ください。
※洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
※表示ランプは数秒後に消灯します。
※洗浄強さの感じ方には個人差があります。

洗浄モードを切り替えるとき

ビデ洗浄中に、もう一度【ビデ】を押す

※ビデ洗浄中、【ビデ】を押すたびにモードが切り替わります。
※洗浄を止め、もう一度【ビデ】を押すと「ビデ洗浄」から始まります。

ビデ洗浄 → **ワイドビデ洗浄** → **スーパーワイドビデ洗浄** →（ビデ洗浄へ戻る）

- **ワイドビデ洗浄**：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。
- **スーパーワイドビデ洗浄**：ノズルが前後に動いて、ワイド洗浄より、さらに広い範囲を洗浄します。

（参考）
●リモコンの表示ランプは数秒後に消灯します。ビデ洗浄をする前に【止】を押すと、ランプが点灯し、洗浄強さの設定を確認できます。

[注意]
●給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの温度が低くなることがあります。
●便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、直腸内部、膣内部、尿道内部は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
●局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
●局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

❖ビデ洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。
ただし、洗浄中にワイドなどの操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

❖ノズルオートクリーニングについて
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 29 ページ)

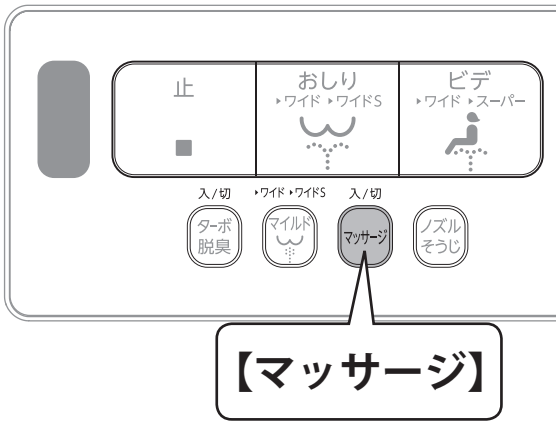
マッサージ洗浄

おしり洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。
※ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

● おしり・マイルド洗浄中に【マッサージ】を押す

● マッサージ洗浄を止めるときは、もう一度【マッサージ】を押す

❖マッサージ洗浄は
マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

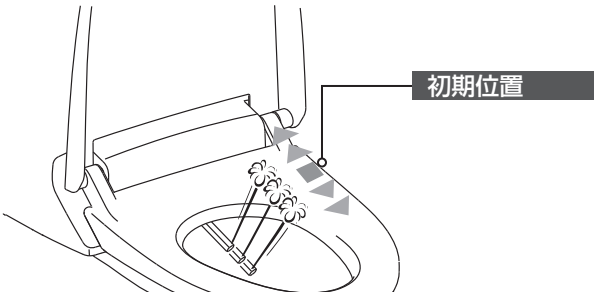


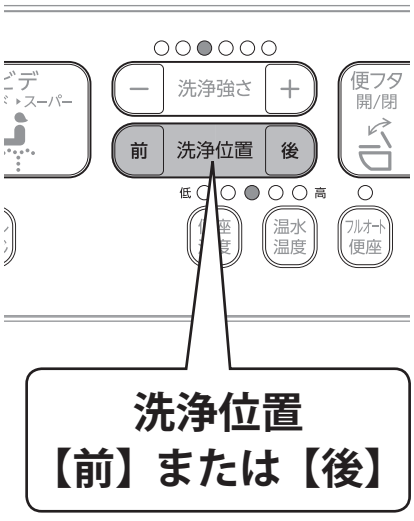
洗浄位置

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

● 洗浄位置の【前】または【後】を押す

※洗浄位置は 5 段階に調節することができます。
　初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段階です。
※便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。





STEP 5

便器を洗浄する

フルオート便器洗浄

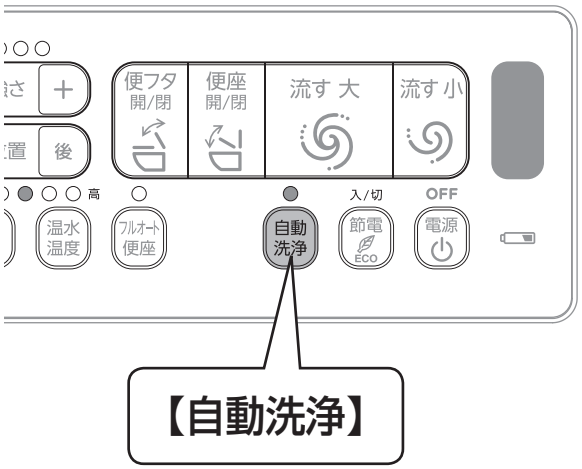
立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。
※お買い上げ時は「入」になっています。
※この機能のついていない機種があります。
11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

設定を切り換えるとき

【自動洗浄】を押す

【自動洗浄】を 1 回押すと、自動洗浄の設定を確認できます。設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。

自動洗浄ランプが点灯 ･･･ 自動で便器洗浄をする
↓ ↑
自動洗浄ランプが消灯 ･･･ 自動で便器洗浄をしない



[注意]
●フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
※洗浄水が流れっ放しになります。

(参考)
●「入」のとき自動洗浄ランプは数秒後に消灯します。
●【止】を押すと、自動洗浄の設定を確認できます。
（おしり / ビデ洗浄中および電源 OFF 中は除く）

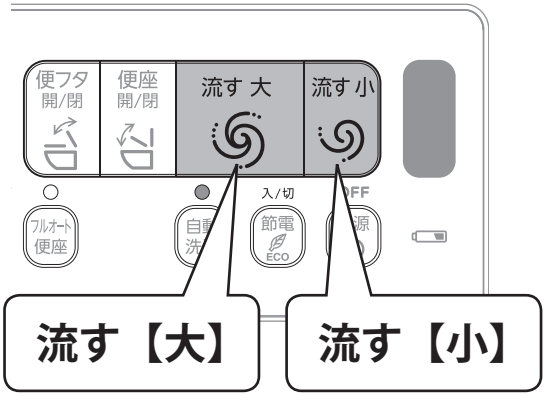
リモコン便器洗浄

※この機能のついていない機種があります。
11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

大・小洗浄便器の場合

**大便時は流す【大】を、
小便時は流す【小】を押す**

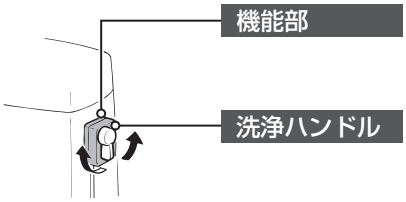
※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。



大のみ洗浄便器の場合

大便時は流す【大】を押す

※機能部がロータンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。



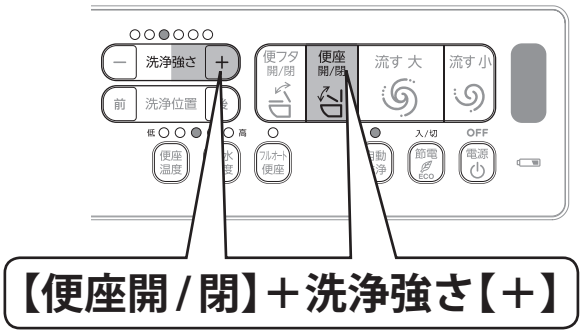
[注意]
●女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。

便フタ閉後便器洗浄

※この機能のついていない機種があります。
　11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。【フルオート便座】
※お買い上げ時は「切」になっています。

1 **【便座開 / 閉】と洗浄強さ【＋】を同じタイミングで 2 秒以上押す**
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります

2 **解除するときは、もう一度【便座開 / 閉】と洗浄強さ【＋】を同じタイミングで 2 秒以上押す**
※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。



【便座開 / 閉】＋洗浄強さ【＋】

※水が流れる前に、便フタが先に閉じます。
※自動便器洗浄【入】の場合は、便座から立ち上がると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。
※リモコンの流す【大】流す【小】で操作すると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。
※着座中・立ち小用時に、リモコンの流す【大】流す【小】を押すと、便フタが閉まらず、水が流れます。
※便フタが閉まってから約 30 秒間は自動で開きません。
※便座から立ち上がってから、便フタが閉まり始める時間を 4 段階に切り替えることができます。（☞ 25 ページ）
※便フタが閉じるときに「ピッピッピッピー」と音が鳴ります。

[注意]
●前にかがんだり、前寄りに座り直したりすると着座スイッチが切れて便フタが閉じてきたり、便器洗浄をしてしまう場合があります。（☞ 27 ページ）

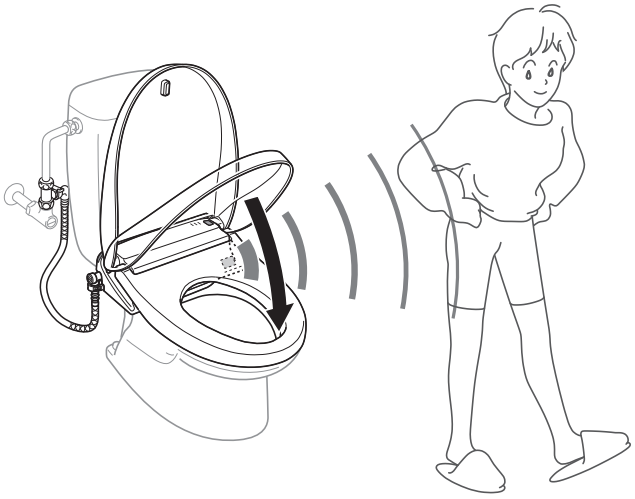
❖男性小用のときは
フルオート便座付の場合、男性小用のとき、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って 1 秒後に小洗浄します。

❖大洗浄と小洗浄の区別は
フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。
（ただし 50 秒未満でもおしり・マイルド洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。）

STEP 6

便器から離れると便フタが閉じる【フルオート便座】

※この機能のついていない機種があります。
11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。



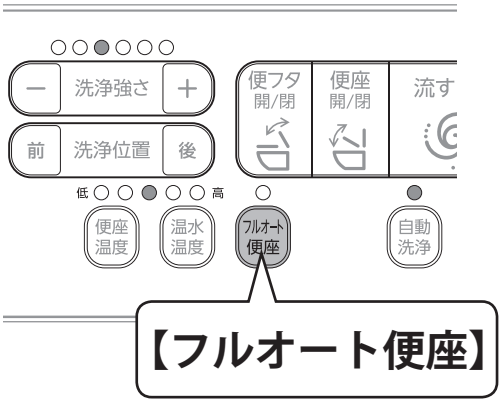
※便フタが閉じるときに「ピッピッピッピー」と音が鳴ります。
※便座から立ち上がって約 1 分後に便フタが閉まります。
フルオート便座が「切」の場合は閉じません。
※男性小用の場合は、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って約 1 分後に便座・便フタが閉まります。
※リモコンや手で便フタを閉じた場合は、約 15 秒間は開きません。手洗い時、人の退出時に便フタが繰り返し開かないようにするためです。
※「人体検知センサー（上）」が人の動き（熱の変化）を検知して、便フタを自動的に開閉します。
トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。

[注意]
●便フタや便座の自動開閉中は手などで動きを止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。
※便フタや便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。

手動で便フタを開閉するとき

【フルオート便座】を押し、「切」にする

[注意]
●手で開閉するときは、強い力を加えず、軽く開閉してください。
※強い力を加えると、故障の原因になります。

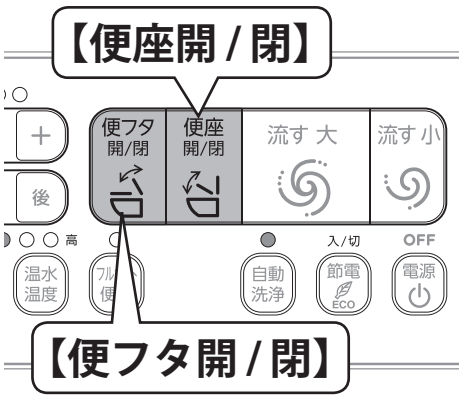


リモコンで便座を開閉するとき

1【便座開 / 閉】を押すと開く
2【便座開 / 閉】をもう一度押すと閉じる

リモコンで便フタを開閉するとき

1【便フタ開 / 閉】を押すと開く
2【便フタ開 / 閉】をもう一度押すと閉じる



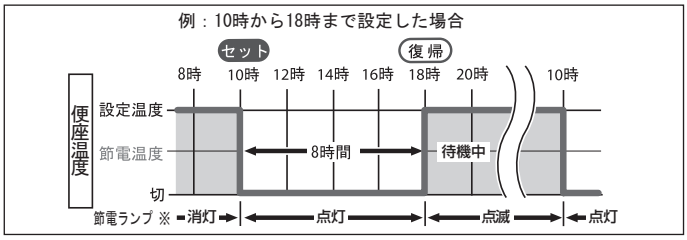
節電【ワンタッチ節電（8 時間）/ スーパー節電（常時）】

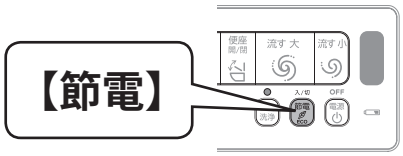
節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

ワンタッチ節電（8 時間）

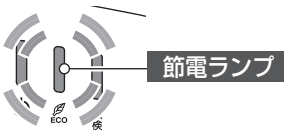
長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後は元の状態に戻り、毎日同じ時間に自動で便座ヒーターを切ります。時間を変更したい場合は、その時間に設定作業をしてください。

1 **【節電】を押す**
※本体表示部の節電ランプが点灯します。
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。





●本体表示部



※ワンタッチ節電中は節電ランプが点灯します。
待機中は節電ランプが点滅します。

（参考）
●停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

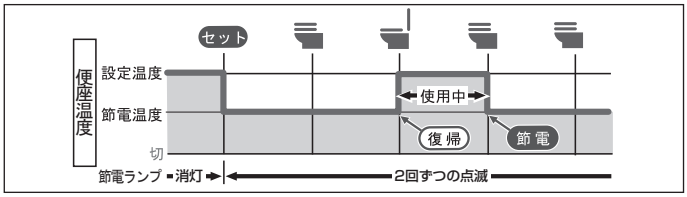
ワンタッチ節電を解除するとき

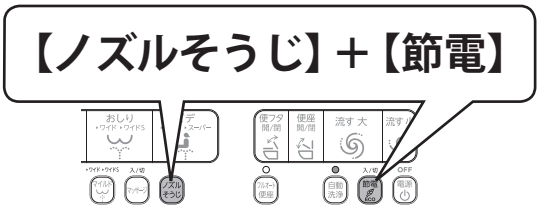
【節電】を押す
※本体表示部の節電ランプが消灯します。
※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

スーパー節電（常時）

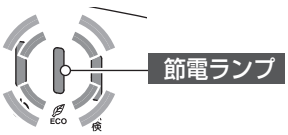
使用していないとき、便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。
※使用していないときは常に節電しています。

1 **【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す**
※本体表示部の節電ランプが点滅します。
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。





●本体表示部



※ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は本体の節電ランプが点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

スーパー節電を解除するとき

【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※本体表示部の節電ランプが消灯します。
※ワンタッチ節電と併用した場合、本体表示部の節電ランプはワンタッチ節電の状態になります。
※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

（参考）
●節電時は便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
●節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

お好みの設定に

各種の設定を変更することができます。
操作方法のボタンを同じタイミングで 2 秒以上押すことで設定を「入」にする、または切り替えることができます。

機能説明		操作方法
便座ヒーター オート OFF	便座に座ると自動で便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドがおこりにくくなります。	【ビデ】＋【マッサージ】
便器洗浄の開始時間を変更する	フルオート便器洗浄の、立ち上がってから自動的に便器洗浄を開始する時間を切り替えることができます。 ※同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒→ 10 秒→ 15 秒→ 2 秒→ 6 秒…の順に切り替わります。（下図参照） **お買い上げ時の設定** **6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒**	【止】＋【ノズルそうじ】
フルオート便座検知時間変更	便フタをリモコンまたは、手で閉めた後、再度人体検知センサーが働き便フタが開くまでの時間を変更できます。 **初期設定** **15 秒 → 20 秒 → 30 秒 → 5 秒**	洗浄位置【前】 ＋ 流す【大】
フルオート便座開閉モード変更	フルオート便座の設定を便座・便フタ同時に開くように変更できます。	【止】＋【便座 開 / 閉】
リモコン操作音を消す	操作時になるリモコン操作音を消すことができます。リモコン受信音、フルオート便座作動時の音なども出なくなります。	【止】＋【マッサージ】

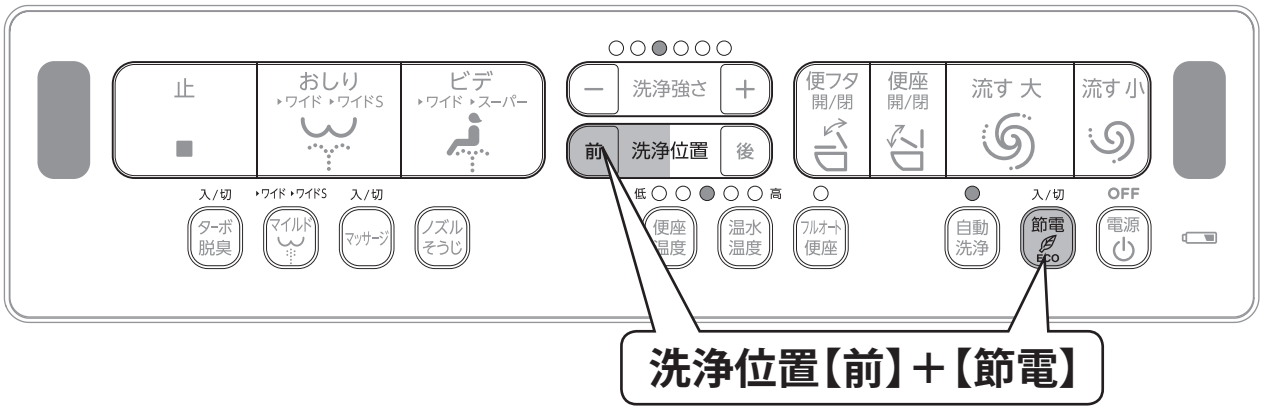
※設定が「入」になる、または切り替わると「ピッ」という音が鳴ります。「切」またはお買い上げ時の設定に戻ると「ピー」という音が鳴ります。

元の設定に戻すときは、もう 1 度、操作方法ボタンを同じタイミングで 2 秒以上押す

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、「ピー」という音がなります。



■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
	脱臭モード	通常モード
節電	節電	切
	スーパー節電	切
温水温度		低
便座温度		低
フルオート便座		入：フタのみ
便座ヒーターオート OFF		切
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから 6 秒後に開始
便フタ閉後便器洗浄		切
リモコン操作音		入
鉢内スプレー		入

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。（ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 24 ページ））

知っておいていただきたいこと

便座の温度は一定に調節しています。

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切 (室温)、低（約 28℃）～高（約 36℃）

冬期のシャワーは。

給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの温度が低くなったり、シャワーが出るまでの時間が長くなることがあります。

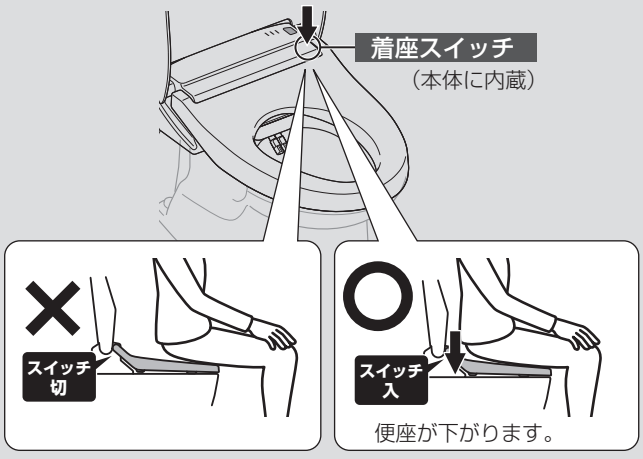
着座スイッチで誤操作を防止します。

着座スイッチが入ると、『カチッ』という音がします。

着座スイッチは、次のような場合に入らないことがあります。

●前にかがんだり、前寄りに座った場合
（特に幼児や児童などの身長が低い方がご使用の場合）

※便座に深めに座るなど、座り方を変えてみてください。



※便座に座らないと［おしり洗浄］、［ビデ洗浄］の各機能が作動しません。

※便座カバー・便フタカバーを付けた場合、着座スイッチ入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。

人体検知センサーが付いていて手を使わず開けられます。〈フルオート便座付の場合〉

人が入室したことを検知して、便フタを自動的に開閉するための「人体検知センサー（上）」が付いています。

人体検知センサー（上）は熱の変化（人の動き）を検知しています。

夏場など、室温が高い場合は、人と周囲の温度差が少ないのでセンサーが検知できないことがあります。便器の前で体を動かしてください。

※便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。

※人体検知センサー部が汚れていると、正常に作動しない場合があります。このような場合はセンサー部を柔らかく、きれいな布でふいてください。

※太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。
太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

〈フルオート便座付の場合〉
電源に接続されていない時は、スローダウンしません。

※強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

電池消耗お知らせサインが付いています。

リモコンの「電池マーク」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。
(☞ 46 ページ)

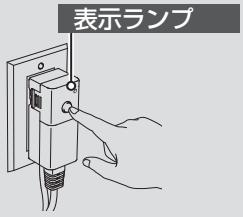
※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）
※ トイレのドアを開けたままや「電池マーク」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

漏電が起こるとランプが点灯し、電気を遮断します。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「表示ランプ」が点灯する場合があります。

表示ランプが点灯したときは

① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度時間をあけて再び差し込みます。
② 「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。



※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。（☞裏面）

初めて使う時は水路内の空気を抜きます。

初めてお使いいただく時や、凍結防止の水抜き処理をされた後にお使いいただく時は、水回路内部の空気を抜きます。
着座すると約 30 秒間、ノズル付近から水が出ます。

こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

※上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。（☞裏面）

省エネのために。

- 使用後は便フタを閉じる
- 便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- 季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
- 節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
- 長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る

※凍結のおそれがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。（☞ 30 ページ）

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

使う洗剤は？

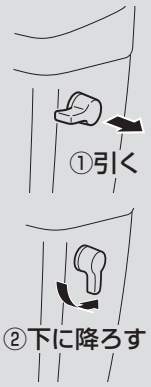
便座や便フタなどのプラスチック部のお手入れには、プラスチックに害のない洗剤を使用してください。
また、便器のお手入れに塩素系洗剤・
酸性洗剤・消毒薬・除菌薬は使用しないでください。
※気化したガスにより、故障･破損の原因になります。

小用時には。

- 洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

洗浄ハンドルが途中で止まったら。〈フルオート便器洗浄付の場合〉

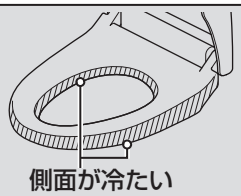
フルオート便器洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れっ放しになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。



(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。

(2) 停電が終わりましたら、リモコンの流す【大】を押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

便座の側面が冷たい。



便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。

凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。
凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

室内を暖房できる場合：	「一般的な凍結防止方法」をご確認ください
室内を暖房できない場合：	建物に水抜栓がない場合：「間欠流動式の凍結防止方法」をご確認ください。 建物に水抜栓がある場合：「水抜式の凍結防止方法」をご確認ください。

シャワートイレの凍結防止操作と合わせて、ロータンク・便器の凍結防止操作を行ってください。
詳しい操作方法はそれぞれの取扱説明書をご確認ください。

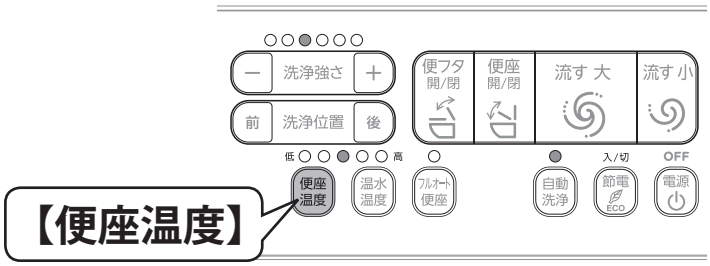
⚠警告

指示実行

凍結のおそれがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

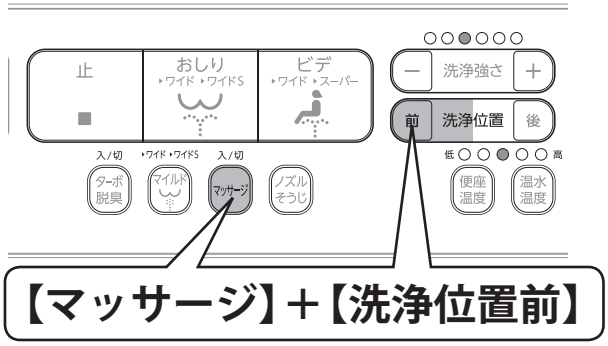
一般的な凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 24 ページ）
3 室内を暖房する



間欠流動方式の凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 24 ページ）
3【マッサージ】と【洗浄位置前】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時「ピッ」という音が鳴ります。
※ 本体内部の水を保温状態にして、凍結を防ぎます。
※ 本体内部の水が凍結しそうになると、ノズル付近から約 300CC の水を排出し凍結を防ぎます。
※ 着座中は水の排出は行われません。



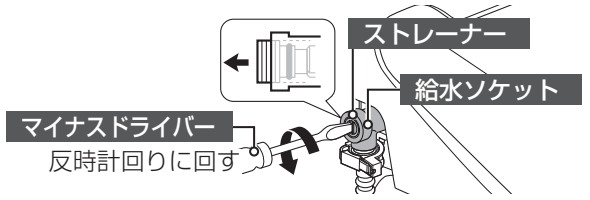
間欠流動を解除するとき

【マッサージ】と【洗浄位置前】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時「ピー」という音が鳴ります。

凍結しそうなときは

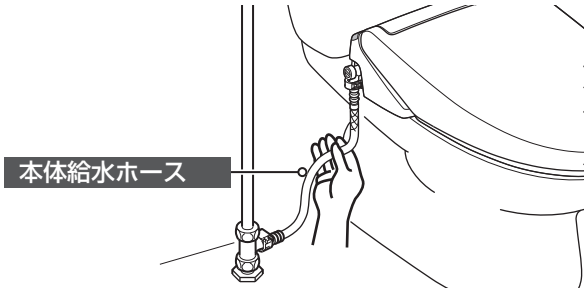
水抜き方式の凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 24 ページ）
3 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く
※水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉じないでください。
※詳しい操作方法は水抜栓の取扱説明書をご確認ください。
4 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作し、ロータンク内の水を抜く
5 給水ホースから水を抜く
① 「ストレーナー」の下に洗面器などを置く
② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で反時計回りに回して外して、ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

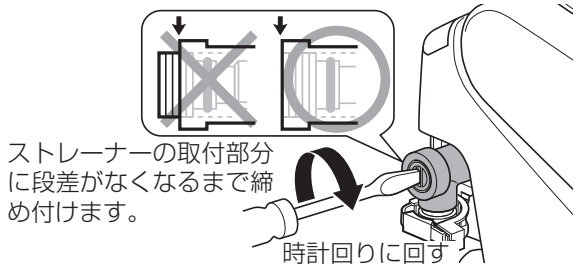


[注意]
●ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

③【ノズルそうじ】と【マッサージ】を同じタイミングで２秒以上押す
※約 15 秒間本体内の残水を抜きます。
④ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く



6 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける



⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認する。
※ＯリングにゴミがＯリングに付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

7〈ヒーター付便器の場合〉
ヒーター付便器を暖める
〈ヒーター付便器でない場合〉
便器鉢内のため水をくみ出し、不凍液を入れる
※ため水をくみ出しただけでは、配水管から臭気が上がってきます。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞８ページ)

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

[注意]
●給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※給水ホースが破損するおそれがあります。
●凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

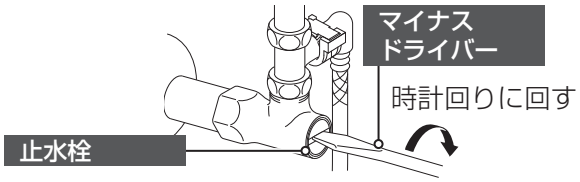
長期間使用しないときは

長期間使用しない場合は、止水栓を閉め、電源を抜いてください。**（故障発生時に被害が大きくなるおそれがあります）**
また、以下の場合は下記の手順にしたがって、本体内及び給水ホースの水抜きを行ってください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結するおそれがあります。）

水抜きのしかた

1「止水栓」を閉めて、給水を止める

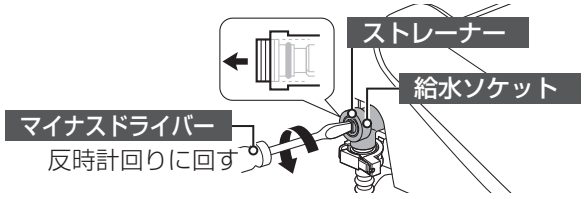
※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作し、ロータンク内の水を抜く

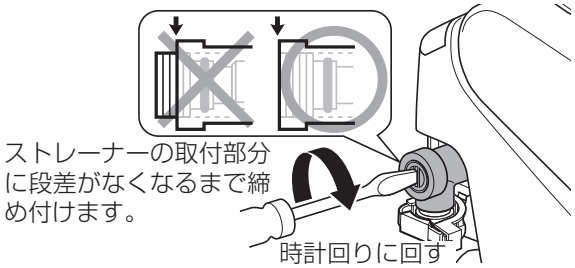
3 シャワートイレ本体から水を抜く

① 「ストレーナー」の下に布などを置く
② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



[注意]
●ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

③ 【ノズルそうじ】と【マッサージ】を同じタイミングで2秒以上押す
※約15秒間本体内の残水を抜きます。
④ 電源プラグをコンセントから抜く
⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける



⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

4 止水栓部から水漏れしていないか確認する

■凍結のおそれがあるとき
※便器内の凍結防止方法を行ってください。
※詳しくは便器の取扱説明書をご確認ください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞8ページ）

お掃除・お手入れ

効果的なお手入れのため、汚れや場所にあった洗剤、道具を正しく使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種　類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したＴシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	–
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	脱臭フィルター

LIXIL のお掃除グッズ（☞ 66 ページ）

種　類		使う場所
トイレ用おそうじティッシュ〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹きかけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー	34 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

本体と便器のすき間	37 ページ
水アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	35 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

ノズルシャッター	39 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	40 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器
便器の取扱説明書をご覧ください。

[注意]
●お掃除･お手入れのときは､リモコンの【自動洗浄】を「切」､【フルオート便座】〈フルオート便座付の場合〉を「切」にして行ってください。
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れたり、便座・便フタが閉じたりします。

⚠警告

禁止

シャワートイレ本体や、電源プラグに水や洗剤・薬品 (消毒薬・除菌薬) を直接かけない。
※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因となったり、金属部品の腐食・劣化による感電・発煙や火災の原因になります。

⚠注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災のおそれがあります。

□お掃除・お手入れ方法
○便座・便フタのお掃除 …… 34
○便フタを外して掃除する …… 35
○隠れた部分のお掃除【本体スライド着脱】 … 37
○ノズルシャッターを清潔に …… 39
○ノズルのお掃除 …… 40
○ノズルの先端を取り替えたい …… 42
○脱臭効果が弱くなったら …… 44
○シャワーが弱くなったら …… 45
○リモコンの電池マークが点滅したら … 46
○電源プラグ（漏電保護機能付）の点検 47
○引越しなどで本体を移設するときは … 48

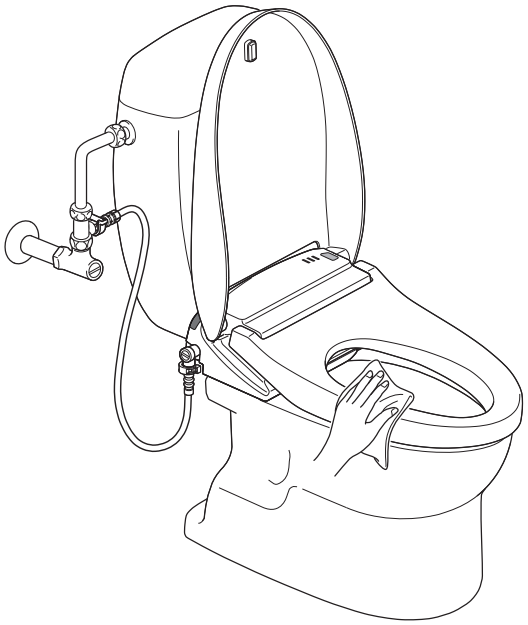
便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除

お手入れの目安　毎日

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 66 ページ）



水ぶきするのはなぜ？

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）メーカーに確認してから使用してください。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 66 ページ）をご覧ください。

すき間もお掃除がしたい

本体を外して、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 37 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 35 ページ）

[注意]
- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
  ※キズが付く原因になります。
- 消毒液や除菌剤の日常的な使用はお控えください。
  ※変色やひび割れなど製品を痛める原因や金属部品の腐食・劣化による発煙や発火の原因になります。
- リモコンのお掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ※シャワートイレが誤作動することがあります。

❖キレイ便座について
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖ KILAMIC 抗菌商品について
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

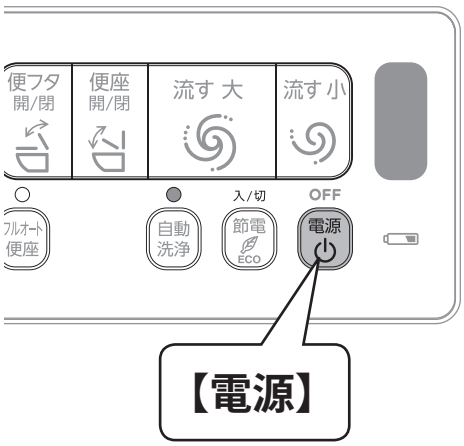
便フタを外して掃除する

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れている部分を掃除するときに便利です。

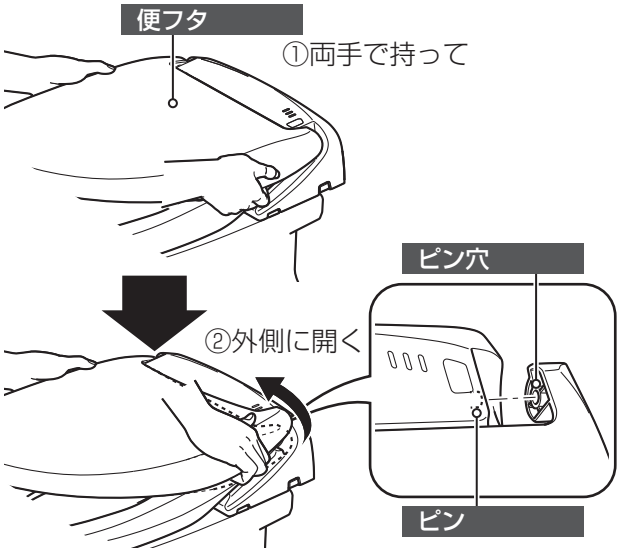
便フタの取外し

お手入れの目安　月に 1 回

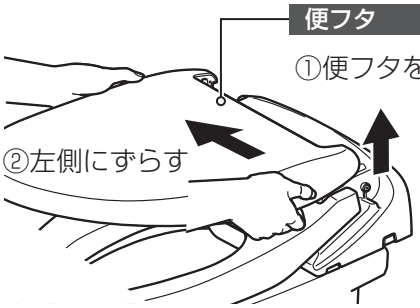
1【電源】を押して「切」にし、電源ランプの消灯を確認する



2 便フタを両手で持ち、右側を外側に開くように上げて、ピンからピン穴を外す



3 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外す

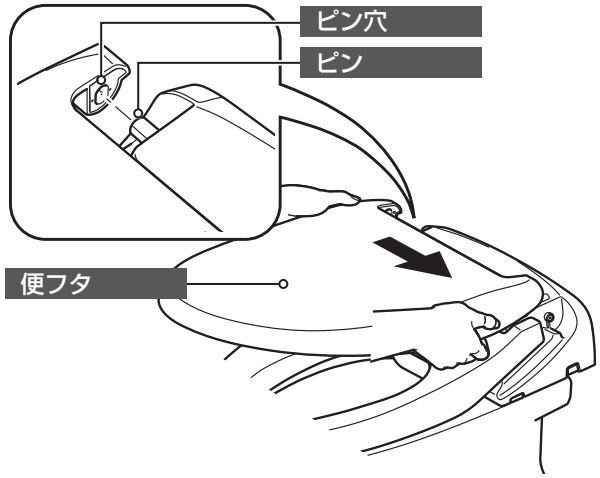


[注意]

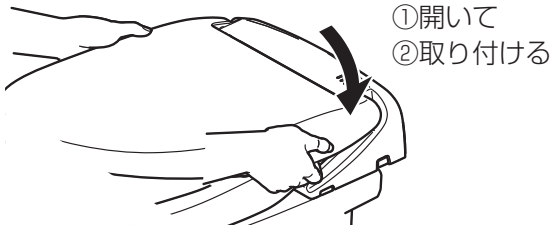
- 便フタを外すときは必ず電源を「切」にしてください。
  ※内部部品が破損するおそれがあります。
- 便フタに無理な力を加えないでください。
  ※破損するおそれがあります。
- 便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※カバーや便座にキズが付いたり破損するおそれがあります。
- 便フタを外したまま使用しないでください。

便フタの組付け

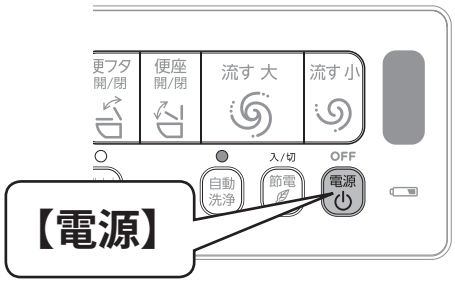
1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンの向きを合わせて差し込む



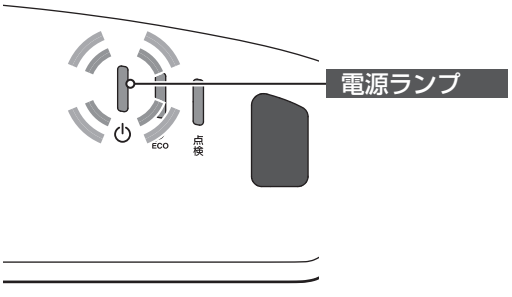
2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンの向きを合わせて、便フタを取り付ける



3【電源】を押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認する



●本体表示部



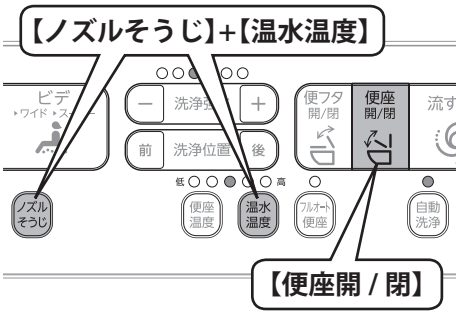
4【便座開 / 閉】を押して、便フタ・便座が上がることを確認する

●便フタがうまく取り付けられないときは、以下の操作でピンを回転させてください。(RWA3G 型、RWA3 型のみ)

①【電源】を「入」にして、便座が閉じていることを確認する

②【ノズルそうじ】と【温水温度】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※この操作後、3 分間はフルオート便座機能が動作しません。



③便フタを組み付ける

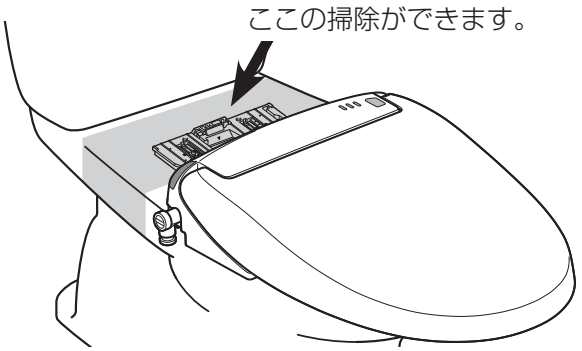
④【便座開 / 閉】を押して、便フタ・便座が上がることを確認する

※便フタピンをペンチなどで無理に回転させないでください。

隠れた部分のお掃除【本体スライド着脱】

本体を外して便器全体や本体裏側の掃除ができます。
細かいところまで、しっかり掃除したいときに便利です。

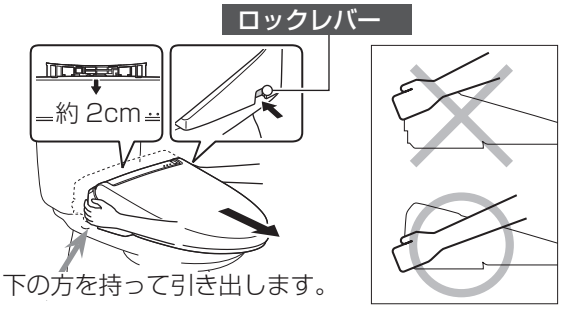
※分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。



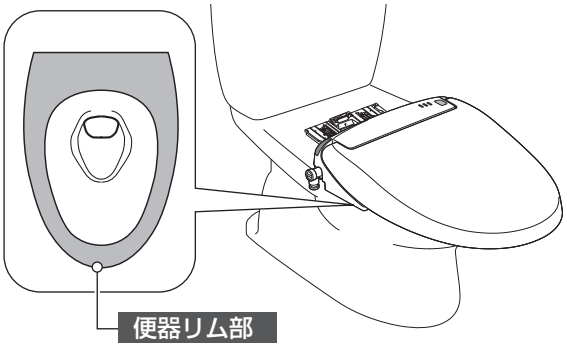
本体の取外し

お手入れの目安　月に 1 回

1 電源プラグをコンセントから抜く
2 止水栓を閉めて給水を止める
3 本体を外す
① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約 2cm スライドさせます。
② ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。

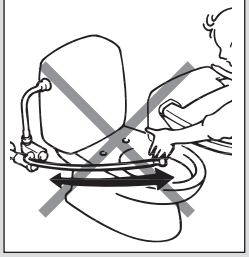


4 本体を便器リム部に静かに置く

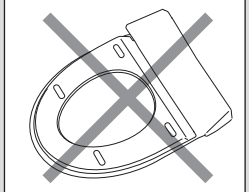


[注意]
- コード類や本体給水ホースを引っ張らないでください。
  ※破損や漏水のおそれがあります。
- 本体の取外時や掃除時には、ていねいに扱ってください。
  ※漏水・故障の原因となります。
- 本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。
  ※故障の原因になります。

● 引っ張らないで！



● 電源を入れたまま裏返さないで！



隠れた部分のお掃除

シャワートイレ本体の掃除は・・・

- 柔らかい布で水ぶきをしてください。
- お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をお勧めします。（☞ 66 ページ）

便器部の掃除は・・・

- 便器の取扱説明書に従ってください。

⚠ 警告

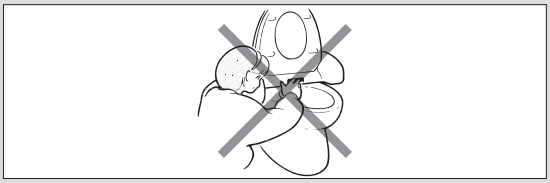
禁止

シャワートイレ本体や、電源プラグに水や洗剤・薬品 (消毒薬・除菌薬) を直接かけない。

※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因となったり、金属部品の腐食・劣化による感電・発煙や火災の原因になります。

[注意]

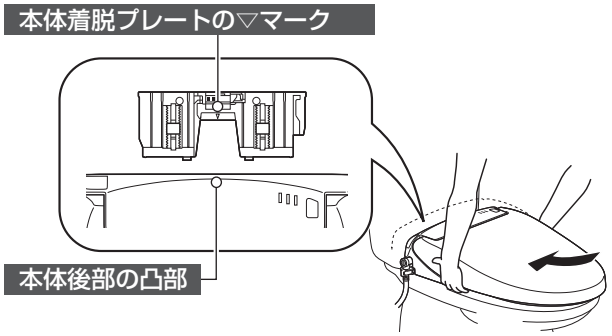
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。
  ※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 開口部やノズル付近に手や物を入れないでください。
  ※ 手をケガしたり、故障の原因になります。



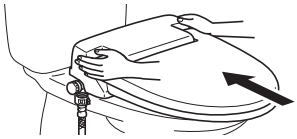
本体の組付け

1 本体を取り付ける

① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
② 本体着脱プレートの▽マークと本体後部にある凸部を合わせます。



③ 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。



※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
※ 本体を前後左右に軽く揺らして、確実に固定されていることを確認してください。
※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなくなりません。
※ 本体がロータンクに当たり取り付けられない場合は、本体着脱プレートの位置を調整してください。

2 止水栓を元の位置まで開く

※ 各部に漏水がないことを確認してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

[注意]

- 本体が確実に固定されていること（本体右側のロックレバーが元の位置に戻っていること）を確認してください。
  ※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
- ホース類を無理に曲げないでください。
  ※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

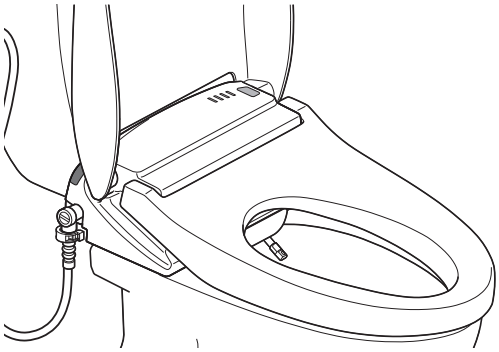
ノズルシャッターを清潔に

ノズルシャッターのお手入れ・取外し・取付け方法が動画でご覧いただけます。

基本的なお手入れ

お手入れの目安　毎日

● 柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯でふいてください。



[注意]
- ●乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
- ●歯ブラシでこすらないでください。
  ※キズが付く原因になります。

ノズルシャッターを取り外して掃除する

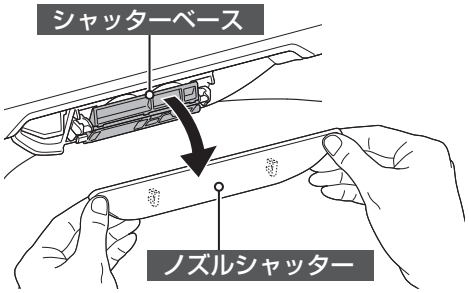
お手入れの目安　月に 1 回

ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

1【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする
※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

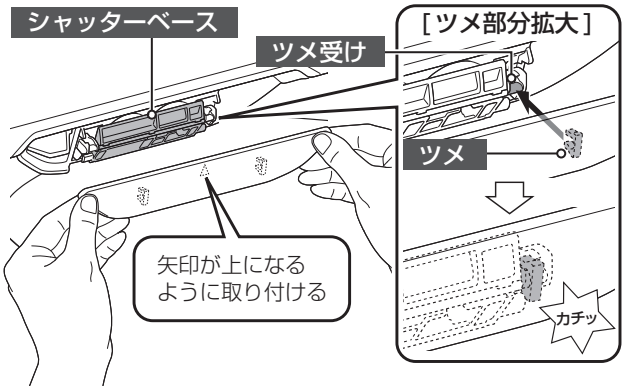
2 便フタ・便座を開く

3 ノズルシャッターを両手で斜め下方向に引っ張り、取り外す
※シャッターベースが外れた場合は、修理を依頼してください。(☞ 64 ページ)
※ノズルシャッターは閉じた状態で操作をしてください。
※詳しくは動画でご覧いただけます。



4 取り外したノズルシャッターを柔らかい布で水拭きする

5 ノズルシャッターのツメ（2 ヵ所）をシャッターベースのツメ受けに、斜め下から取り付ける
※詳しくは動画でご覧いただけます。
※【自動洗浄】や【フルオート便座】を「切」にした場合は元に戻してください。



[注意]
- ●“カチッ”と音がするまで押し込んでください。
  また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
- ●シャッターには、上下の向きがあり、誤った向きで取り付けると、ノズルが伸びない、シャッターが開かないなど誤作動の原因になります。
- ●無理な力を加えないでください。
  ※破損するおそれがあります。

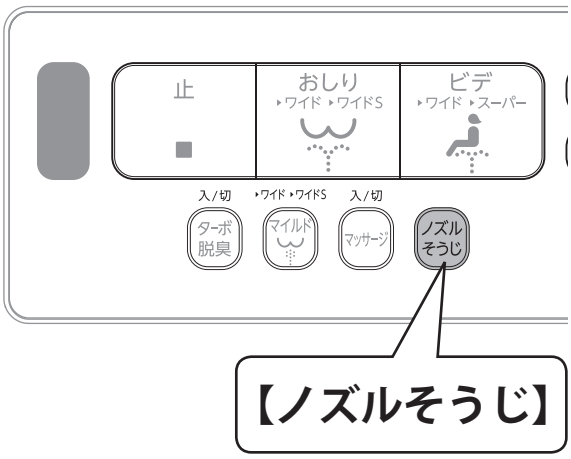
ノズルのお掃除

ノズルの掃除には、以下の方法があります。
●使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
●日頃の掃除時、ノズルを電動で伸ばし、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

使用中（着座中）のノズル掃除

● 使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

1【ノズルそうじ】を押す
※ノズルが本体に収納されたまま、約 15 秒間洗浄します。



❖オートクリーニング機能について
おしり・マイルド洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

❖ノズル除菌機能について
使用後に、銀イオン水でノズルをしっかり洗浄・除菌します。
洗い流して除菌するだけでなく、銀イオンのパワーで洗浄後も菌の繁殖も防ぎ、いつまでもキレイに保ちます。

ノズルのお掃除

お手入れ時のノズル掃除

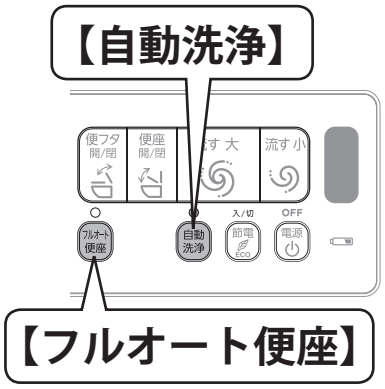
お手入れの目安　月に 1 回

● お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

※おしりノズル・ビデノズルの順にお手入れができます。

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉と【フルオート便座】〈フルオート便座付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

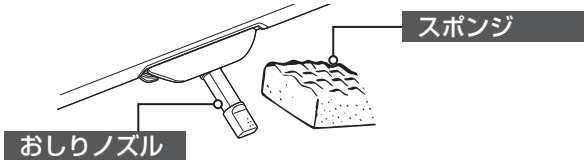


2 便フタ・便座を開く

3【ノズルそうじ】を押す

※ノズル付近から約 10 秒間水が出た後、おしりノズルが伸び出ます。このとき、シャワーは噴出しません。

4 おしりノズルを掃除する



※約 5 分たつと、ノズルは自動で戻ります。

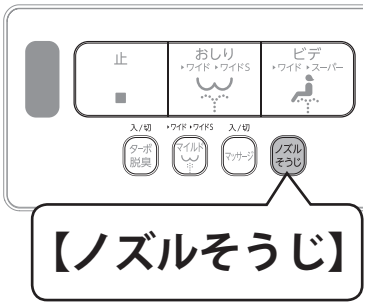
※ノズル掃除中に約 5 秒間便座を押し下げると、ノズルは自動で戻ります。
ノズルが戻った後、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びおしりノズルが伸び出ます。

(参考)

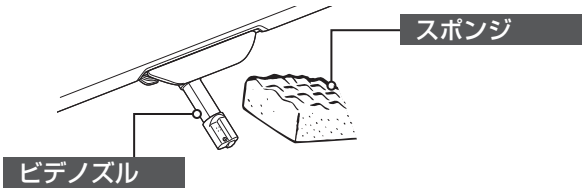
●掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」(☞ 39 ページ) をご覧ください。

5【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸びてきます。



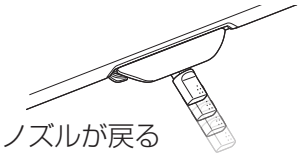
6 ビデノズルを掃除する



※約 5 分たつと、ノズルは自動で戻ります。
ノズルが戻った後、【ノズルそうじ】を 2 度押すと、再びビデノズルが伸びます。

7【止】を押す

※万一、ノズルがシャッターに引っかかった場合は、再度【ノズルそうじ】を押し、ノズルを伸ばしてください。



[注意]

●ノズルに強い力をかけないでください。
※故障の原因になります。

●ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。
※ノズルが引っ込まなくなり、故障の原因になります。
もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

●歯ブラシでこすらないでください。
※キズが付く原因になります。

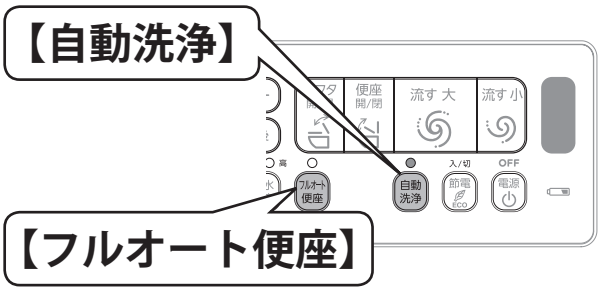
ノズルの先端を取り替えたい

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 66 ページ）をご覧ください。

ノズル先端の取外し

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉と【フルオート便座】〈フルオート便座付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

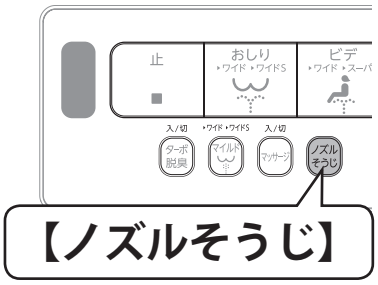


2 便フタ・便座を開く

3【ノズルそうじ】を押す

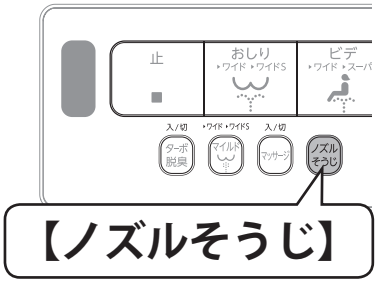
※おしりノズルが伸び出ます。

※ノズル付近から約 10 秒間水が出た後、おしりノズルが伸び出てきます。このとき、シャワーは噴出しません。



〈ビデノズルを交換したい場合〉
もう一度、【ノズルそうじ】を押す

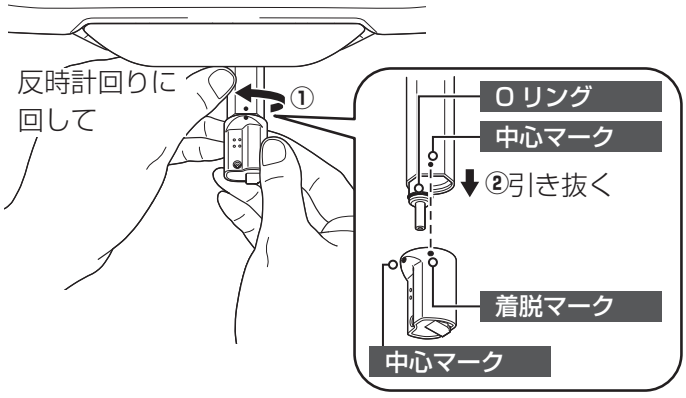
※ビデノズルが伸び出ます。



[注意]
●着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。

4「ノズル先端」を反時計回りに回して「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせ、引き抜く

※少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押さえて取り外してください。



※ノズルが停止している間に「ノズル先端の取付け」（☞ 43 ページ）の手順にしたがって新しいノズルに交換してください。

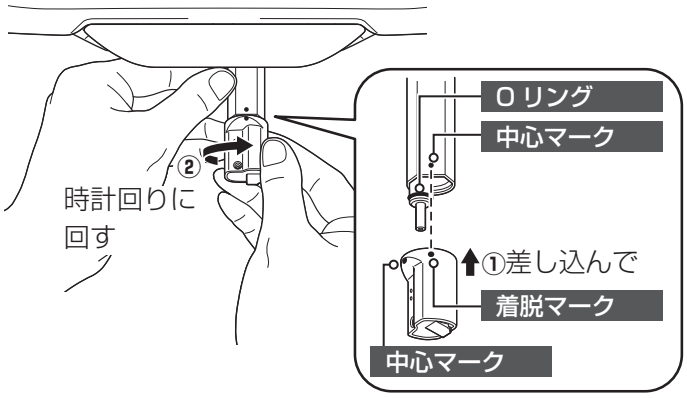
ノズルの先端を取り替えたい

ノズル先端の取付け

※ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズル先端の取外し」**2**、**3**の操作をしてノズルを出してください。

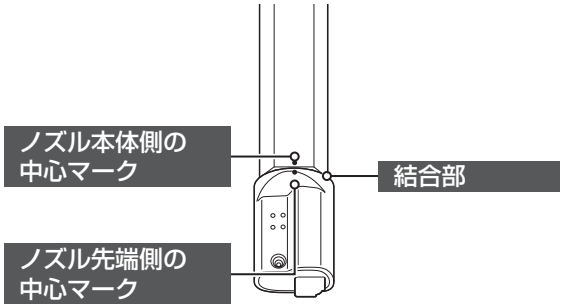
1「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル先端を動かなくなるまで時計回りに回す

※ノズルの奥側を手で押さえて取り付けてください。



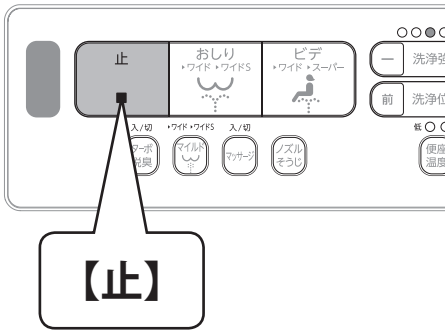
[注意]
- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- Oリングにキズを付けないよう注意してください。

2「結合部」を確認する



[注意]
- 取付後、ノズル本体側の中心マークとノズル先端側の中心マークが合っていることを確認する。
  ※使用中ノズル先端が外れたり、ノズル本体が故障するおそれがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまうおそれがあります。

3【止】を押して、ノズルを戻す



脱臭効果が弱くなったら

「脱臭フィルター」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。においが気になりだしたら、お手入れしてください。

脱臭フィルターのお手入れのしかた

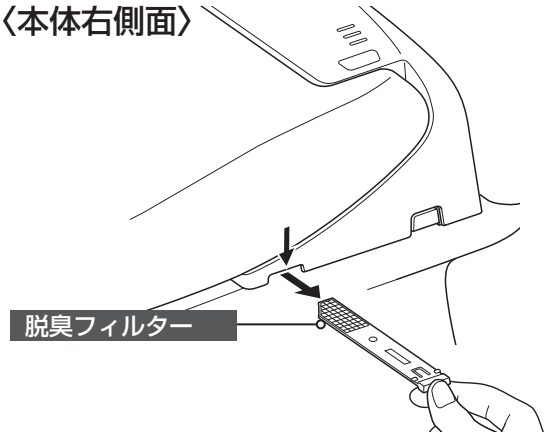
お手入れの目安　月に１回

1 電源プラグをコンセントから抜く

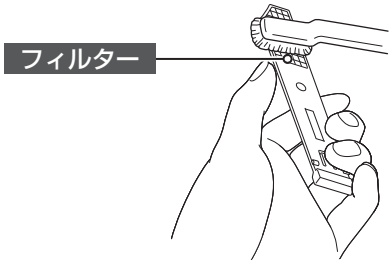
2 本体右側面から、脱臭フィルターを取り出す

※脱臭フィルターが取り出しにくい場合は、手でフィルターを押し下げて取り出してください。

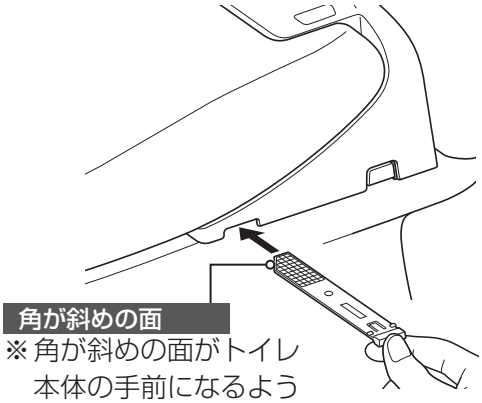
〈本体右側面〉



3 フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除く



4「脱臭フィルター」を組み付ける



※角が斜めの面がトイレ本体の手前になるように取り付けてください。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

■再び使用するとき
必ず試運転の項目を確認してください。
(☞ 8 ページ)

❖フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるときは

シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。
フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるようでしたら、部品の交換を依頼してください。(☞ 63 ページ)

シャワーが弱くなったら

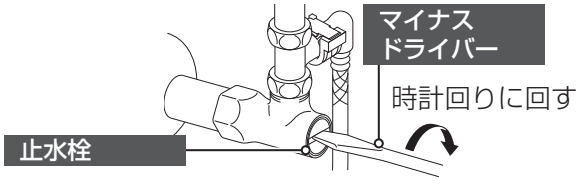
長期間使用してシャワーの勢いが弱くなり始めたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては２年に１回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

お手入れの目安　２年に１回

1「止水栓」を閉めて、給水を止める

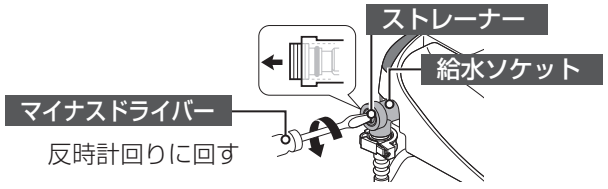
※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2【ノズルそうじ】を押す

3 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す

※このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



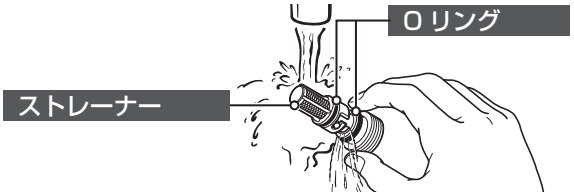
❖ストレーナーを外す際

給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

[注意]

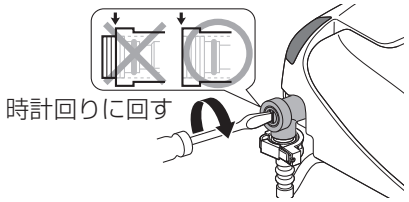
●ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

4「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



5 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に締め付ける

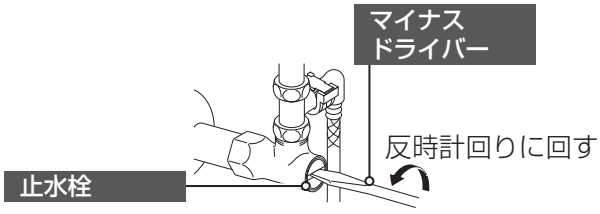
※ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。



[取付時の注意]

●ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

6「止水栓」を元の位置まで開く



7 止水栓部から水漏れしていないか確認する

⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。

●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり締める。

●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

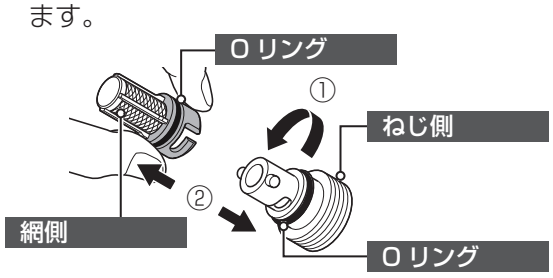
■ストレーナーの汚れがひどい場合は

ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。

※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。

※鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。

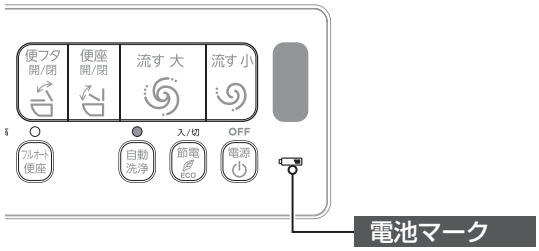
※網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



リモコンの電池マークが点滅したら

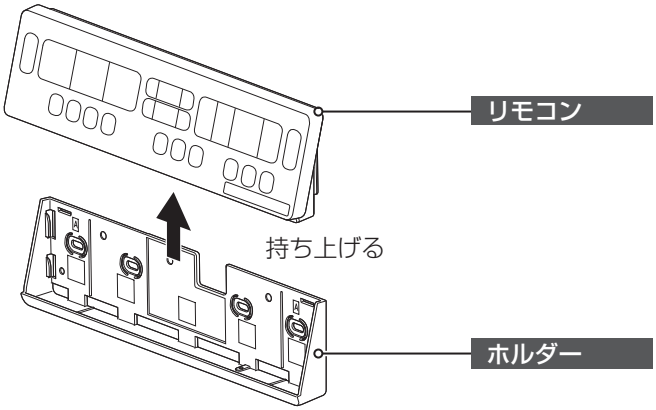
電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。（☞ 28 ページ）

[注意]
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。



リモコンの電池交換

1「リモコン」を「ホルダー」から外す

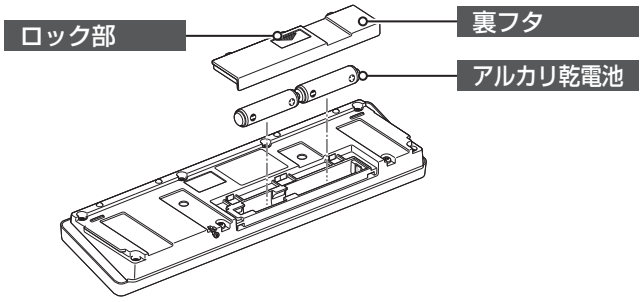


[注意]
- リモコン本体をやや手前に傾けながら、ゆっくりと取付け・取外ししてください。
  ※壁に傷を付ける可能性があります。

2「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」（1.5V アルカリ単三形、2 本）に取り替える

※電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

※裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具にてロック部を解除して外してください。



3「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に差し込む

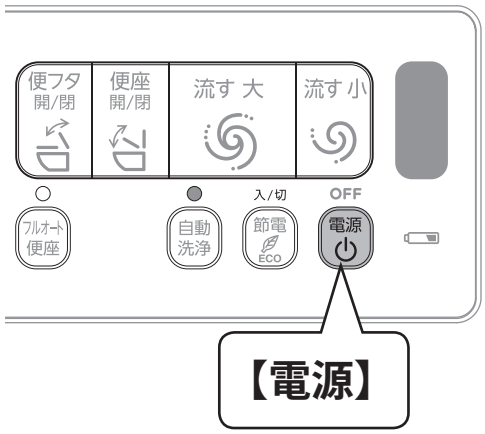
（参考）
- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。

電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。

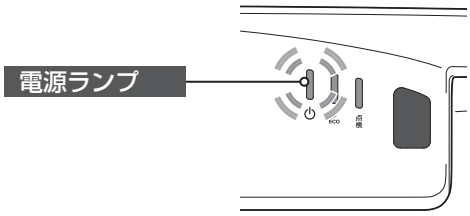
点検の目安は月に 1 ～ 2 回程度

1【電源】を押して「入」にする

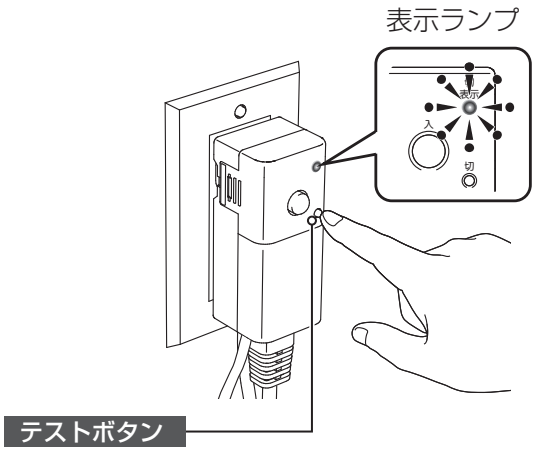


2「電源ランプ」の点灯を確認する

●本体表示部

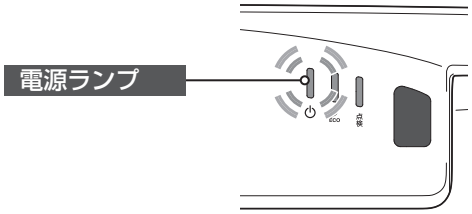


3 電源プラグの「テストボタン」を押して、「表示ランプ」が点灯することを確認する

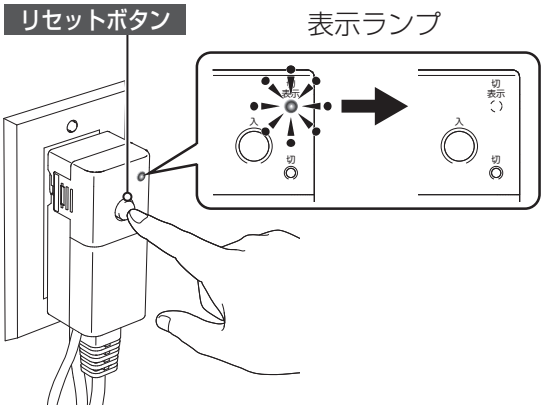


4「電源ランプ」の消灯を確認する

●本体表示部



5「リセットボタン」を押して、「表示ランプ」が消灯することを確認する



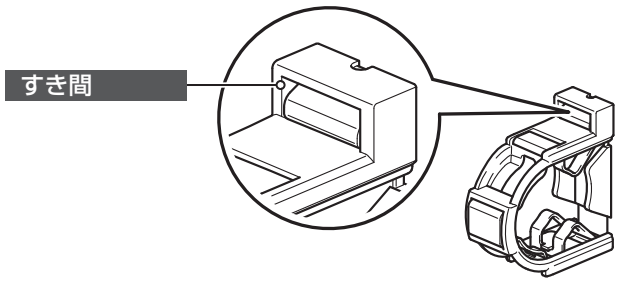
※この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。

引越しなどで本体を移設するときは

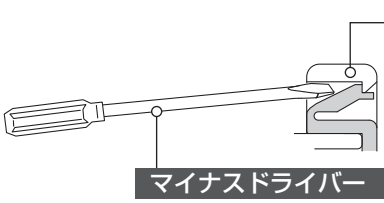
給水ホースの外しかた

※給水ホースを取り外す際は、止水栓を閉めて洗浄ボタンを操作し、圧力を抜いてください。

クイックファスナーを外してから、給水ホースを外してください。

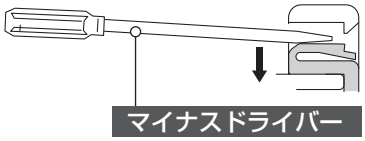


1 すき間にマイナスドライバーを差し込む

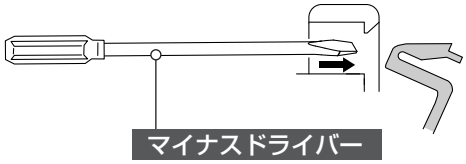


※ロック部のツメが引っ掛かる構造になっています。

2 すき間に差し込んだマイナスドライバーを、箱状部分のつけ根方向に押す



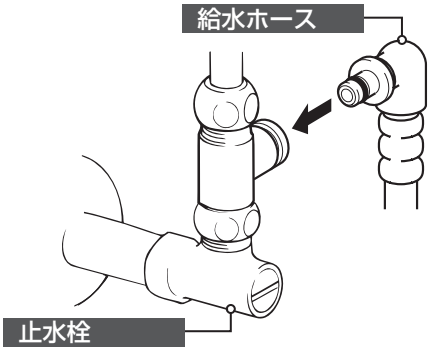
3「2」の状態から前に押し、ツメを外す



※前に押すとき、ドライバーを少しひねりながら行うと、押しやすくなります。

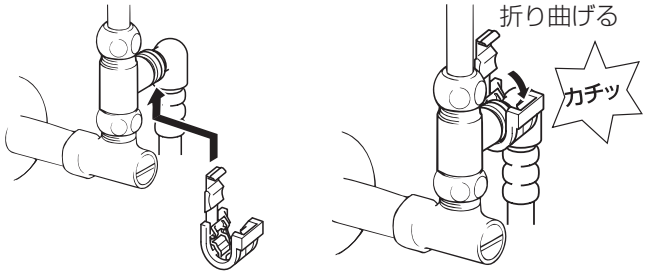
給水ホースの付けかた

1 止水栓と給水ホースを取り付ける



2 クイックファスナーを下図のとおり、“カチッ”と音がするまで取り付ける

※取付後、クイックファスナーを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



■シャワートイレ本体を移設のために取り外す場合は

引越しなどでシャワートイレ本体を移設する場合は、以下の手順で取り外してください。

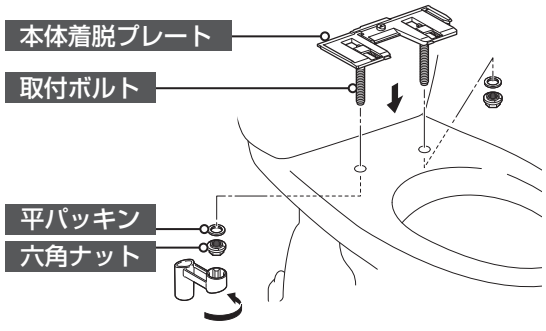
1「隠れた部分のお掃除」の手順にしたがって、シャワートイレ本体を取り外します。

2 便器下側のナットを外します。

3 本体着脱プレートを取り外します。

※取り外した部品を紛失しないようご注意ください。

※再びシャワートイレ本体を組み付ける場合は、取外しと逆の手順で組み付けてください。



修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
すべての機能が動作しない（電源ランプが点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	―
	電源が「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	【リモコン電源】を押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。	8
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	8
	漏電していませんか。（電源プラグの表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	47
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	―
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源ランプは点灯している）	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池マーク点滅＊）	新しい電池に交換します。	46
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。	46
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	―
	リモコンの送信部、または受光部を体でさえぎっていませんか。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を受光部に向けて【止】を押してください。「ピー」という音が鳴った場合は、商品の異常ではありません。	―
	インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	―
	リモコンの受光部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	―
	リモコンのスイッチを押すとリモコンの「OFF」ランプが点灯しませんか。	【電源】を押して、リモコン電源を「ON」にします。	―

＊：リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	8
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	45
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	17,18,19,
	前かがみになったり、前寄りに座ったりしていませんか。	便座後部の着座スイッチが、着座を検知しなければ、シャワーは出ません。座り方によっては、着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	27
	シャワートイレへの給水温度が高くなっていませんか。	故障ではありません。配管凍結防止ヒーターなどにより給水温度が約40℃以上になった場合、配管内の高温水が抜けるまでシャワーが出ないことがあります。この場合は便器洗浄などをして配管内の高温水を抜き、もう一度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。またこの現象が繰り返し起こる場合には、配管凍結防止ヒーターなどの使用方法を見直してください。	―
	使用中に電源を切っていませんか。	電源を入れ直してください。	―
シャワーが途中で止まる	途中で腰を浮かせるなど姿勢を変えて着座スイッチを入りにくくしていませんか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	27
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水温度】を押し、適当な温度に調節します。	10
	シャワートイレの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。 冬期など給水温度が低くなると、温水温度が少し低くなる場合があります。	―
シャワーの出始めの水が冷たい	暖かくないのはシャワーの出始めだけですか。	故障ではありません。温まる前の水は排水していますが、シャワーの出始めは水温が低い場合があります。	―
シャワーが弱い	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	17,18,19,
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	39
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しいですか。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	43
ノズルが出てこない・ノズルが出っぱなしになっている	使用中に電源を切っていませんか。	電源を入れ直してください。	―
以前使用していた機種のシャワーと異なる	他機種からの買い換えの場合、製品の構造が異なるため、交換前のものに比べて以下のような場合があります。 ・シャワーが出るまでの時間が長い ・シャワーがあたる位置や角度に違いが感じられる ・シャワーが強く感じられる、または弱く感じられる そのような場合は製品の特性であり、故障ではありません。		―

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーの作動音が大きい	洗浄強さ５～６でのみ音が大きくなる場合は正常です。洗浄強さを上げるために、ポンプが作動しています。		―
シャワー使用時にカチッと音がする	故障ではありません。シャワートイレに水を取り入れる部品の作動音です。		―

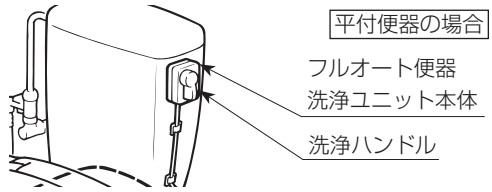
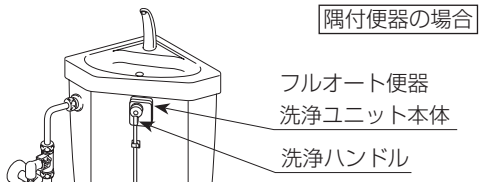
暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	【便座温度】を押し、適当な温度に調節します。	10
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	24
	省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。 トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。		
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	25
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	―
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じることがあります。製品の特性であり、故障ではありません。		29

脱臭

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便フタカバーを使用していませんか。（着座スイッチが入りっぱなしになっていませんか。）	便フタカバーを外して使用してください。	―
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	15
	2 時間以上便座に座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座スイッチが「切」になります。	―
脱臭効果が弱くなった（においが気になる）	脱臭フィルターにホコリなどが付着していませんか。	脱臭フィルターを掃除します。	44
	長期間使用していませんか。	シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。部品の交換を依頼してください。	63

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

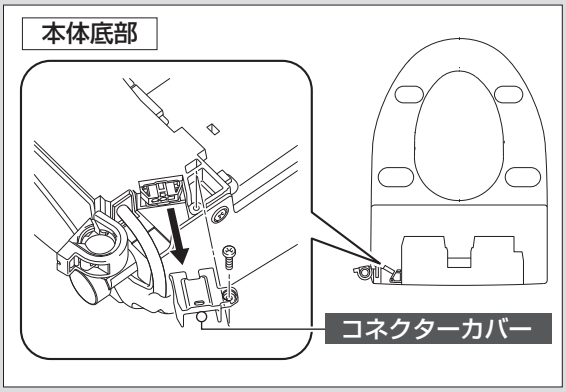
現　　象	原　　因	処　　置	ページ
フルオート便器洗浄時： ●自動で動かない ●「大」·「小」時、逆方向に動く ●動作中に異音がする	【自動洗浄】が「切」になっていませんか。	【自動洗浄】を「入」にします。	21
	フルオート便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。	53
	前かがみになったり、前寄りに座ったりしていませんか。	便座後部の着座スイッチが、着座を検知している状態から立ち上がらなければ、フルオート便器洗浄しません。座り方によっては、着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	―
	フルオート便器洗浄ユニットの設定(モード)が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄モード設定の変更方法」をご覧になって、モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。	(下記参照)
電動で小洗浄ができない	トイレは対象機種ですか。	トイレが対象機種かどうかを確認してください。フルオート便器洗浄ユニット本体が、洗浄タンクの外側に付くタイプは小洗浄の設定がありません。(下記イラスト参照)	12
	 		
洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れない または 洗浄水が止まらない	フルオート便器洗浄ユニット本体が傾いている。	タンクフタを開けて、フルオート便器洗浄ユニット本体を垂直に直します。	―
	フロート弁の鎖が外れている。	鎖を取り付けます。	―
	洗浄ハンドルが（停電等により）途中で止まっている。	再度「大」スイッチを押します。 (☞「フルオート便器洗浄ユニット」取扱説明書 ：作動中に停電が起きた場合)	―
	洗浄ハンドルが（水抜き操作により）途中で止まっている。	洗浄ハンドルを引っ張りながら下に降ろします。	―
	フロート弁の鎖が引っかかっている。	タンクフタを開けて、引っかかっている鎖を元に戻します。	―
	フロート弁の鎖が長すぎるまたは短すぎる。	フロート弁の鎖を調節します。	53

■フルオート便器洗浄モード設定の変更方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

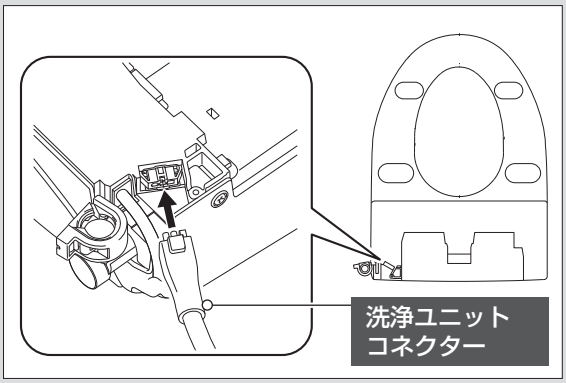
「大小洗浄」⇆「大のみ洗浄」の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**【ノズルそうじ】＋【ビデ】** 同じタイミングで 6 秒間押す。
洗浄ハンドル回転方向 **「反時計方向」⇆「時計方向」**の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**【電源入 / 切】＋【ノズルそうじ】** 同じタイミングで 6 秒間押す。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1.【電源】を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。(☞ 37 ページ)
3. プラスドライバーを使ってネジを外し、コネクターカバーを外します。



4. フルオート便器洗浄ユニットのコネクターと接続します。
5. コネクタカバーを取り付け、ネジを締め付けて固定します。
6. 本体を便器に取り付けます。(☞ 38 ページ)
7.【電源】を「入」にします。



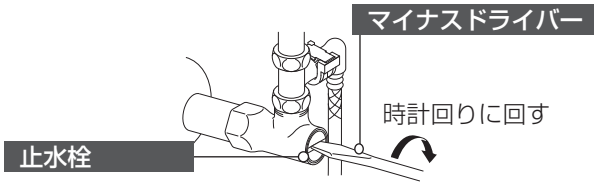
《フロート弁・鎖の調節》

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れっ放しなどの不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

タンクフタの取外し

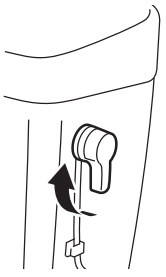
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



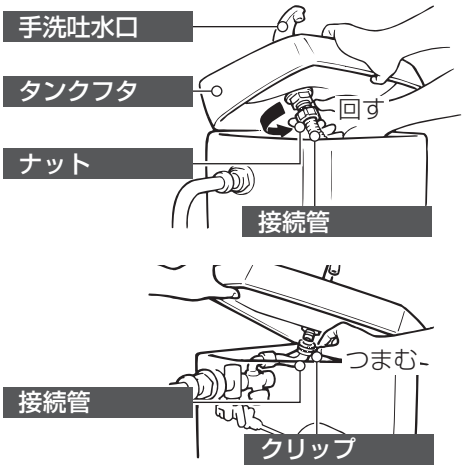
2 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

※洗浄水が流れない場合は、タンクフタを外し、中の水を汲み出すか、フロート弁の鎖を引っ張って水を流し出します。



3 タンクフタをロータンクから外す

手洗吐水口付は、ゆっくりとフタを持ち上げて中を見て、手洗吐水口と接続管がナットか、またはクリップで接続していることを確認します。
ナットやクリップをゆるめ、フタから接続管を外して、フタを取り外してください。
※ナットやクリップがない場合もあります。



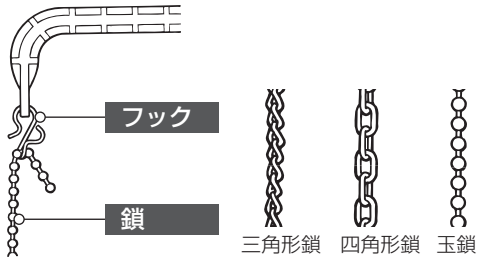
[注意]
●手洗吐水口付の場合は、フタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。
※トイレ内をぬらすおそれがあります。

フロート弁・鎖の調節

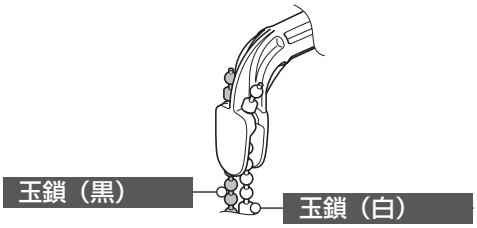
1 タンクフタを外したら、ロータンク内の鎖の形状を確認する

※鎖の形状により、調節方法が異なる場合があります。

〈鎖が 1 本の場合〉

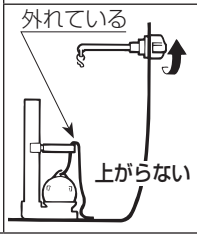
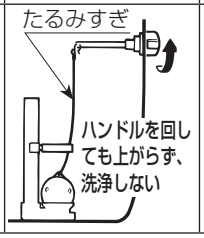
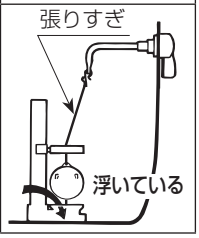


〈鎖が 2 本の場合〉



〈鎖が 1 本の場合〉

2 フロート弁・鎖の状態を確認する

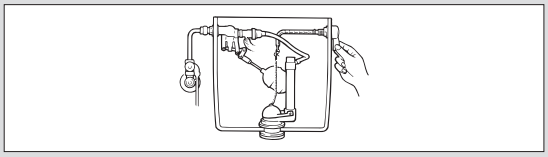
現象	洗浄水が流れない		流れっ放し
	鎖が外れている	鎖がたるんでいる	鎖が張りすぎ
原因			

3 鎖の調節を行う

① レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

（参考）

●ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げます。

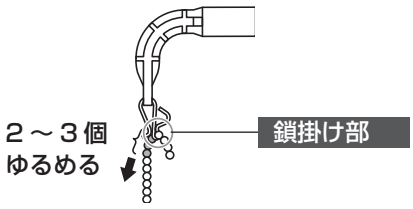


② 鎖を合わせた位置からゆるめます。

（参考）

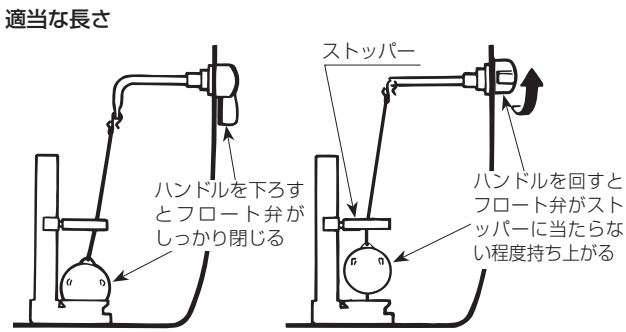
●鎖の種類によって、ゆるめる個数がちがいます。

- 三角形鎖、玉鎖　：2 ～ 3 個程度
- 四角形鎖　：1 個程度
- ストッパーがないタイプ：3 ～ 4 個程度



③ 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。

4 玉鎖の取付けを確認する



［注意］

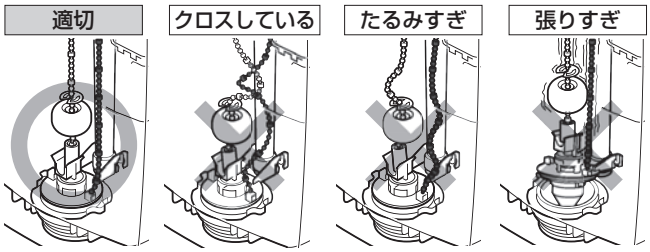
●鎖やレバーが浮玉など他のものに触れたり、引っ掛かりがないようにしてください。

●十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

修理を依頼する前に

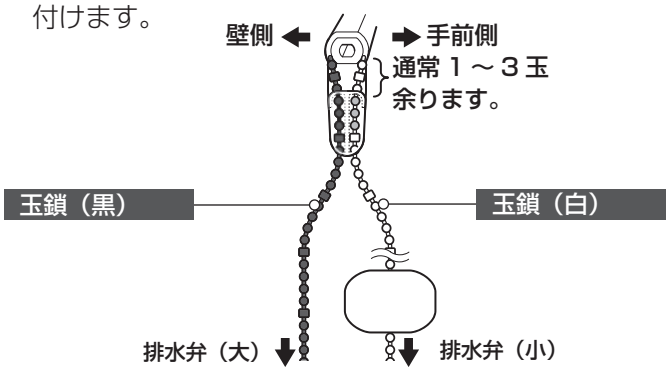
〈鎖が 2 本の場合〉

2 フロート弁・鎖の状態を確認する



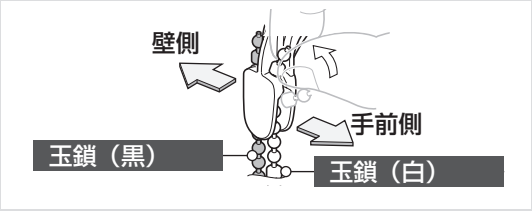
3 鎖の調節を行う

レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、玉鎖をハンドルに取り付けます。

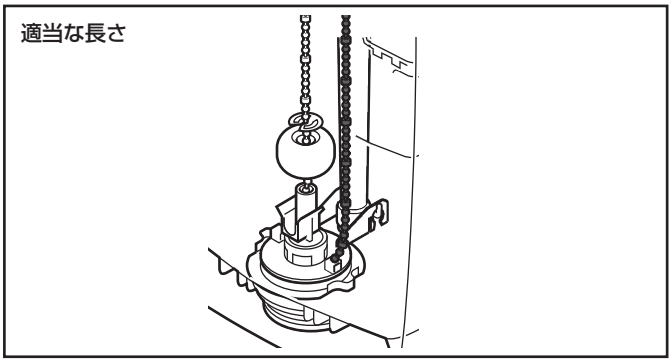


[注意]

● 玉鎖は手前が白、壁側が黒になるように取り付けてください。
※ 反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。

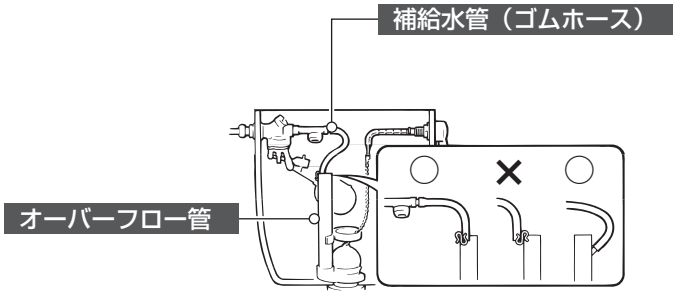


4 玉鎖の取付けを確認する



タンクフタの取付け

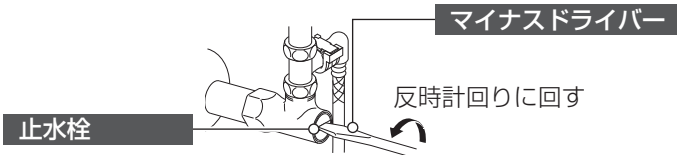
1 補給水管がオーバーフロー管に固定されていることを確認する〈補給水管がある場合〉



2 タンクフタをのせる

手洗吐水口付の場合は下記をご覧ください。

3「止水栓」を元の位置まで開く



4 流す【大】を押す
または、本体の洗浄ハンドルを回して、正常に洗浄水が流れることを確認する

※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる場合は、再度鎖を調節してください。（☞ 54 ページ）

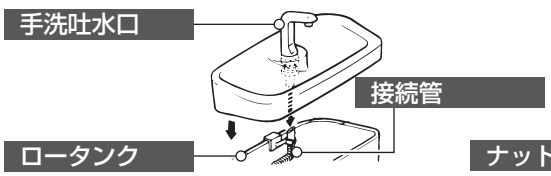
[注意]

● 水がロータンクから漏れたり、水が出ない場合は、すぐに止水栓を閉めてタンクフタを取り付け直してください。

〈手洗吐水口付の場合〉

差し込むタイプ

吐水口と接続管を合わせて、ゆっくりとタンクフタを下ろして差し込みます。

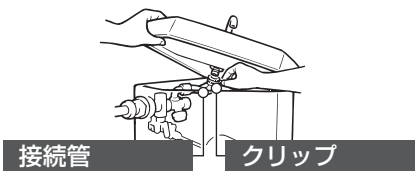


ナットで接続するタイプ

吐水口に接続管のナットを回して、接続します。

クリップで固定するタイプ

あらかじめクリップを接続管にはめておき、吐水口に接続管を差し込んで、クリップでしっかりと固定します。



フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座・便フタがバタンと落ちる	電動開閉中に便フタを押さえませんでしたか。	もう一度【便座開 / 閉】を押し、電動開閉しない場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	―
	便フタカバー、便座カバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。	―
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	8
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	【フルオート便座】が「切」になっていませんか。	【フルオート便座】を「入」にします。	14
	便フタカバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバーを外して使用してください。	―
	便フタが正しく取り付けられていますか。	便フタを正しく取り付けます。	36
	便フタを手動で閉めていませんか。	リモコンまたは手動で便フタを閉じると約 15 秒間は自動で便フタは開きません。	―
	室温が高くなっていませんか。	夏場など室温が高い場合や直射日光などで人（体温）を検知しづらくなり、作動しにくい場合があります。	―
	人体検知センサー（上）が汚れていませんか。	センサー部を、柔らかくきれいな布でふきます。	27
便フタが開きっぱなしになっている、または、人がいなくても開閉を繰り返している	直射日光が直接センサーに当たっていませんか	直射日光が当たらないようにしてください。	―
便座・便フタが開きっぱなしになっている	人体検知センサー（下）が汚れていませんか。	センサー部を、柔らかくきれいな布でふきます。	27
便座・便フタを開くときにカチカチと音がする	便座・便フタ電動開閉の作動中に、動きを止めたり逆方向に動かしていませんか。	便座・便フタ電動開閉の動きの障害になっているものを取り除いてください。	23
便座・便フタを開いたり閉じたりするときにカチッと音がする	故障ではありません。 使用中に便座・便フタが倒れないように自立保持機構（バネ）を設けています。自立保持機構が作動している音です。開閉に異常がなければそのままご使用ください。		―

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
座っている時に便フタが勝手に閉じる	前かがみになったり、前寄りに座ったりしていませんか。	便座後部の着座スイッチが、着座を検知していないと、便フタは自動で閉まります。座り方によっては、着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	ー
便座を自動で開く際、勢いよく開いて、便フタにあたる	故障ではありません。 便座が倒れてこないようにしっかりと開くためです。		ー
以前使用していた機種よりも、動作音が大きい	他機種からの買い換えの場合、以前のものと製品の構造が異なるため、動作音が大きいと感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー

鉢内スプレー

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
鉢内スプレーが動作しない	鉢内スプレーを「切」にしていませんか。	鉢内スプレーを「入」にします。	15
	便座から立ち上がった直後ではありませんか。	便座から立ち上がってから、再び座るまでの時間が約 80 秒以内の場合は、ミストが噴出しません。便器鉢内が湿った状態であれば鉢内スプレーの効果は残っていますので、そのままご使用ください。	15

その他

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	―
便座に座ると音がする	故障ではありません。 器具の保護のため、便座に座ると水回路内の空気を抜くためポンプが作動して音が鳴ります。		―
本体がガタつく、ずれる	本体がロックされていますか。	本体をしっかり押し込んでください。	38
	本体着脱プレートが緩んでいませんか。	取付ナットを締め直してください。	48
本体から〝ググッ〟と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●おしり・マイルド洗浄・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		―
使用していないときに本体からファンが回っている音がする。	脱臭機能が動作している可能性があります。機能の状態を確認してください。 脱臭ファンは脱座後、1 分間動作します。		15
電源ランプが点滅している	シャワートイレ本体に給水されていない。（断水、止水栓が閉まっているなど）	給水後、止水栓を開いて、試運転を行ってください。 それでも点滅する場合は、**電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	8
	温水・便座・洗浄モーターのいずれかの機能に不具合が生じている。	【電源】を「切」にしても点滅している場合は、**故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	―
	給水ホースなど、配管に凍結防止ヒーターがついていませんか。	凍結防止ヒーターを「切」にしてください。 給水温度が 40℃を超えると安全装置が働き作動しなくなります。	―
点検表示が点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	61
便座裏側にある足が便器についていない	故障ではありません。 便座が上下する構造のため、便座の足と便器の間にすき間があります。 便座前足の片側のみが便器につく設計になっていますので、そのままご使用ください。		―

その他（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワートイレ本体と陶器のすき間があいている	故障ではありません。 焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。そのままご使用ください。		ー
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	45
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	45
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	ー
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能を全てお買い上げ時の設定に戻します。	**【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押します。**	26
便座の片側が浮いている	故障ではありません。着座スイッチの動作のために片側を浮かせる設計になっています。		27
座ると便座からカチッと音がする	故障ではありません。便座に座ると着座スイッチが入り、カチッと音がします。		27
シャワートイレを使用すると、室内の照明がちらつく	故障ではありません。 シャワーを水から湯に暖めるときに、一時的に電力使用量が増えることで発生する場合があります。そのままご使用ください。		ー

安全・安心にお使いいただくために

製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

⚠ 警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便:１回 / 日･人、小便男性:４回 / 日･人、小便女性:４回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

長年のご使用や故障したままのご使用は、電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。

温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

1. 定期的な点検をおすすめします。まずは自分で安全チェックを。
   安心してご使用いただくため、定期的な点検（有料）をおすすめします。
2. リコール製品や故障した製品は使わないでください。
   発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止してください。
3. 長期間お使いの製品は点検と買い替えをご検討ください。
   長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- □ トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- □ 便座がときどき冷たい（節電中は除く）。
- □ 便座が異常に熱いときがある。
- □ お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- □ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- □ 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。
- □ 便座にひびや割れがある。
- □ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- □ 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- □ 製品や便器を伝って水漏れしている。
- □ 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

発行元：一般社団法人 日本レストルーム工業会

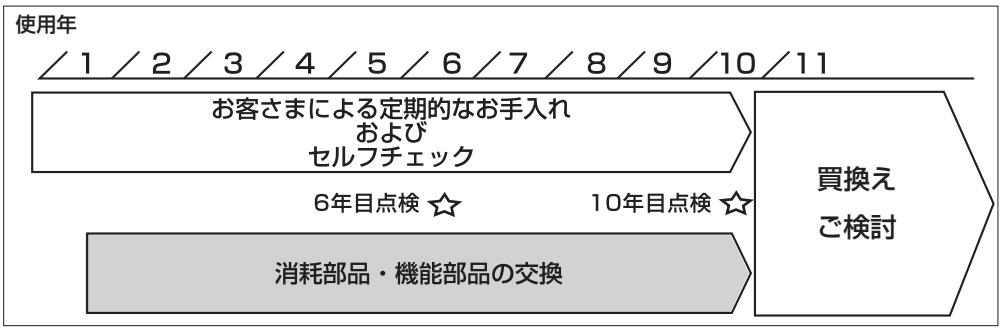
https://www.sanitary-net.com/ トイレナビ 検索

詳細はこちらをご覧ください

経済産業省

一般社団法人 リビングアメニティ協会

1. 定期点検・部品交換などの目安



2. 有料点検のおすすめ

有料となりますが、当社では各種点検をご用意しています。
有料点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
※ 点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

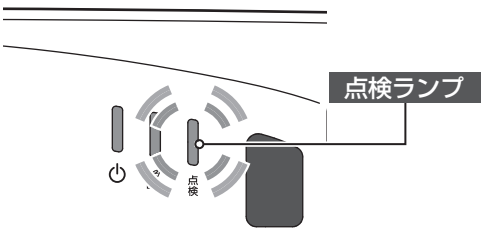
■ 6 年目点検（逆流防止装置の点検）

逆流防止装置が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。
「6 年目点検」として逆流防止装置点検を受けていただくことをおすすめします。
また、「あんしん点検」も併せて受けていただくことをおすすめします。

■ 10 年目点検（点検ランプ点灯時）

製品を約 10 年ご使用いただくと点検ランプが点灯します。
これは機器の故障ではなく、お客さまに安心してご使用いただくための機能です。
長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。
この機会に「10 年目点検（おまかせ点検）」を受けていただくことをおすすめします。

●本体表示部



※ ご使用条件により、点検ランプの点灯時期は異なります。（☞ 60 ページ）
※ お客さまによる操作ではこの表示を消灯することができません。LIXIL トータルサービスのサービス員による「10 年目点検（おまかせ点検）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯します。

■ 点検

定期点検の時期にかかわらず、お客さまのご希望の時期に、サービス員が確認する「あんしん点検」をご用意しています。
日々のセルフチェックでは確認できない本体内部を含む製品の状況をサービス員が点検することで、安心してご使用いただけます。
※ 点検の内容は「10 年目点検（おまかせ点検）」と同じです。

温水洗浄便座は電気製品です。長期間のご使用による経年劣化や、故障したままのご使用は事故に至るおそれがあります。
故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身で行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
故障を発見した場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は当社おすすめの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 49 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。

他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合･故障において、フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。
※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴムなど）は、保証の対象外となります。

⚠警告

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水のおそれがあります。

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水のおそれがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

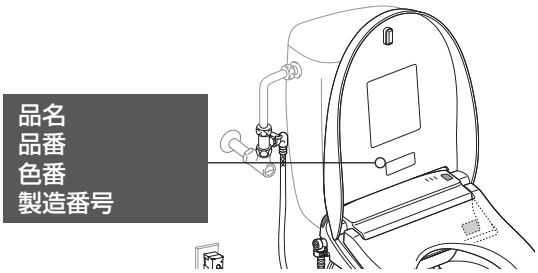
■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 12 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合せは

商品のお問い合せ

お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日 9:00 ～ 18:00
土・日・祝日 9:00 ～ 17:00
※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

6. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

■ WEB サイトからの修理依頼はこちら ※ 24 時間依頼可能

リクシル 修理 **検索**

https://www.lixil.co.jp/support/

■お電話でも修理を承ります

【受付時間】 9:00 ～ 19:00
（年末年始休み）

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

7. 延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、リクシルオーナーズクラブへの会員登録をされますと無料でさらに延長されます。
WEB からご登録いただくか、同梱の「オーナーズクラブ会員登録 兼 長期保証サービスお申込みハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。
※詳しくはご購入時にお渡しの「リクシルオーナーズクラブご登録（所有者登録）のお願い」をご覧ください。
※非住宅でご使用の場合は、WEB からのご登録のみとなり、保証期間は 1 年の延長となります。

8. 登録手順

■ WEB の場合

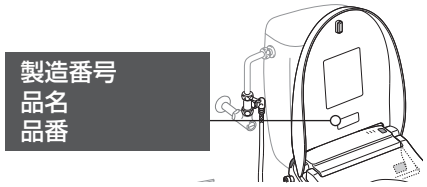
「リクシルオーナーズクラブウェブサイト」からご登録をお願いします。
シャワートイレ以外の製品を含め、複数の LIXIL 製品の保証延長を一度にご登録いただけます。
ご登録いただきました会員さま専用のマイページをご用意いたします。お掃除がラクになるお手入れ方法など心地良い暮らしのヒントになる情報をお知らせしてまいります。

1. あらかじめ製品の本体に表示しています製品情報（品番・製造番号）をご確認ください。
2. スマートフォンやパソコンから以下のサイトへアクセスし、手順に従ってご登録ください。
   https://lixil.to/loccw01
   ※ご登録にはメールアドレスが必要になります。
3. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。
   ※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
   （取扱説明書のアフターサービスを参照ください。）
4. 登録完了後、「オーナーズクラブマイページ」から登録製品および延長保証書をご確認ください。

■ ハガキの場合

同封のハガキにてご登録をお願いします。
※非住宅でご使用のお客さまは WEB のみのご登録となります。

1. オーナーズクラブ会員登録ハガキに必要事項をご記入ください。
   ※記入もれがありますと、登録できない場合があります。フリガナも必ずご記入ください。
   ※取付日は必ずご記入ください。
   ※電話番号は延長保証書が宛先不明で返送された際の確認などに必要です。必ずご記入ください。
2. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。また、ハガキ投函後にハガキご郵送日をご記入ください。
   ※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
   （取扱説明書のアフターサービスを参照ください。）
3. 保証書は発送されません。
   ご登録には 1 ヶ月前後お時間をいただきます。
   お問い合わせは「お客さま保守センター」までお願いいたします。



所有者登録・延長保証のお問い合せは、
お客さま保守センターまで
受付時間 / 平日 10：00 ～ 17：00 ※土日祝・夏期・年末年始の休みは受け付けておりません。
TEL 0120-179-473

9. 個人情報のお取扱いについて

ご登録いただいたお客さまの情報は、次の目的に利用させていただきます。
・お客さまに対してダイレクトメール、電子メール等による情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
・リクシルオーナーズクラブの特典やキャンペーン等で当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
・商品やサービスについてお客さまの利用状況や満足度を調査するため
個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご覧ください。

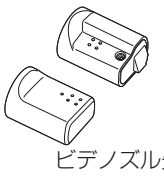
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

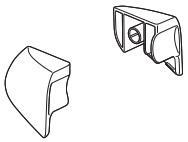
■ おしりノズル先端（品番：CWA-263）
■ ビデノズル先端 （品番：CWA-264）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 42 ページ）



■ 便座ストッパー（品番：CWA-274/ 色※）
※ 本体が BW1、BN8、LR8 の場合は同じ色品番で、それ以外の場合は N83(グレー) で発注ください。

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。

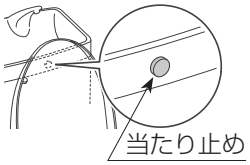


[注意]
●便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能およびフルオート便座機能は使用できませんので、ご了承願います。

■ 当たり止め（品番：75-2608）

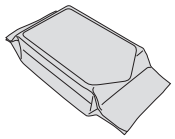
便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たり止めを貼り付けてください。

〈取付例〉



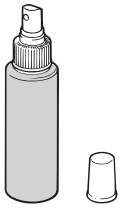
■ トイレ用おそうじティッシュ
（4 個セット　品番：CWA-36-4SET）
（12 個セット　品番：CWA-36-12SET）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 34 ページ）



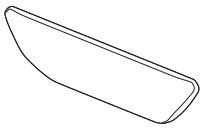
■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 34、38 ページ）



■ ノズルシャッター（品番：CWA-275/ 色※）
※ 本体が BW1、BN8、LR8 の場合は同じ色品番で、それ以外の場合は N83(グレー) で発注ください。

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。
（☞ 39 ページ）



別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。ご注文の商品によって異なりますが、ご注文確認後 7 日～ 10 日以内で発送させていただきます（但し、夏季休暇、年末年始、ゴールデンウイークを除きます）。
お支払方法は代引きでのお支払い（代金引換決済）のみとなります（振込み、クレジット支払いなどは不可となります）。
その他配送料金などの詳細は、下記のフリーダイヤルもしくはホームページにてご確認ください。

LIXIL ストア

WEB LIXIL ストア　検索

https://store.lixil.co.jp

※インターネットではお取扱いしていない商品もございます。
部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL ストア部品販売窓口
TEL 0120-126-015
受付時間　平日　9:00 ～ 17:00
（土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み）

仕様

シリーズ名			シャワートイレ RW シリーズ	
グレード			CW-RWA3 型	CW-RWA2 型
定格電源			AC100V 50/60Hz	
定格消費電力			1300W	
省エネ区分			瞬間式	
年間消費電力量※1			104kWh/ 年（節電機能切時：139kWh/ 年）	
給水圧力		最低必要圧力	0.05MPa（流動時）	
		最高圧力	0.75MPa（静止時）	
使用温度範囲			0℃～40℃	
商品寸法			幅 413mm ×奥行 541mm ×高さ 104mm	
商品質量			約 4.3kg	約 3.9kg
電源コード（電源接続方式）			有効長さ：1.0m（漏電保護機能、アースコード付）	
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式	
		給湯方式（タンク容量）	瞬間式	
		おしり吐水量	パワフル洗浄：0.43L/ 分（脈動方式による 6 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき マイルド洗浄：0.45L/ 分（脈動方式による 6 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき	
		ビデ吐水量	0.45L/ 分（6 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき	
		温水温度	水温・約 32℃～40℃（計 6 段階切替）	
		ヒーター容量	1240W	
		安全装置	温度ヒューズ・高温検出サーミスタ・空焚防止流量スイッチ	
	ノズル除菌	方式	銀含有ガラスによるイオン除菌方式	
	鉢内スプレー	噴霧量	30mL 供給水圧 0.2MPa のとき	
	暖房便座	表面温度※2	室温・約 28℃～36℃（計 6 段階切替） スーパー節電設定時：室温・約 27℃～30℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時：室温	
		ヒーター容量	45W	
		安全装置	温度ヒューズ	
	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
		脱臭能力	パワー脱臭時：0.12㎥ / 分 フルパワー脱臭時：0.16㎥ / 分 ターボ脱臭時：0.18㎥ / 分	
リモコン	壁リモコン	寸法	幅 263mm ×奥行 33mm ×高さ 73mm	
		電源	単三アルカリ乾電池：2 本	
		通信方式	赤外線式	

※1：省エネ法（2012 年度基準）に基づいた測定値。
※2：省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によって便座が冷たいと感じる場合があります。
トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。
※3：上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件等により異なる場合があります。

[注意] ●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

修理・お取扱いのご相談 よくお読みください

修理を依頼する前にご確認ください

☑ 知っておけば便利で安心.....27 ～ 32 ページ
☑ 故障かな？と思ったら.....49 ～ 59 ページ

上記を確認しても改善しない場合

まず、お求めの取扱店へご相談ください。
お問い合せの際は、修理対象商品の下記内容をご確認ください。

トイレ：シリーズ名、品番

※ 左記内容が確認されていると、スムーズな修理対応が行えます。確認できる範囲で構いません。ご協力よろしくお願いします。

取扱店

ご購入年月日　　年　　月

TEL（　　）　　－

※ お取扱店がわからない・ご連絡できない場合は、下記のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

LIXIL 公式 HP お客さまサポート

リクシル お客さまサポート　検索

https://www.lixil.co.jp/support/

●メールでのお問い合せ、WEB 修理受付、WEB パーツ販売をご利用いただけます。
その他コンテンツ
Q & A、所有者登録、長期保証サービスお申込み、お手入れ動画などがございます。

商品のお問い合せ

お客さま相談センターへ
TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日　9:00 ～ 18:00
土・日・祝日　9:00 ～ 17:00
※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

● WEB サイトからの修理依頼はこちら　※ 24 時間依頼可能

リクシル 修理　検索

https://www.lixil.co.jp/support/

●お電話でも修理を承ります
【受付時間】　9:00 ～ 19:00（年末年始休み）
TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

別売品のご購入

部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL ストア へ
TEL 0120-126-015
https://store.lixil.co.jp
【受付時間】　平日 9:00 ～ 17:00
※土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

●LIXIL ストアは、お客さまご自身でお取換えいただける部品を宅配サービスにて取扱いする窓口です。お取換え作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。

個人情報のお取扱いについて

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　https://www.lixil.co.jp/

GCW-1447(24040)